



FD9167-H、FD9167-HT

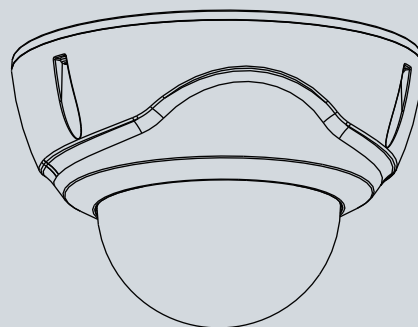
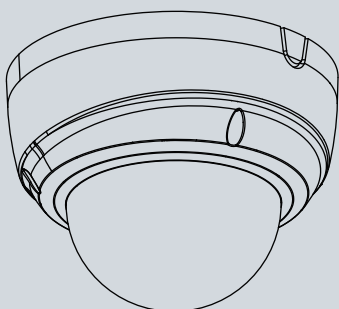
FD9367-HV、FD9367-HTV、FD9367-EHTV

固定ドーム型
ネットワークカメラ

ユーザーズマニュアル

(参考用)

2MP 30FPS • デイナイト • SNV • スマートストリーム III
WDR Pro • SNV II • 30M スマートIR • IP66 • IK10



改訂版 1.0

この製品マニュアルは、ビボテックジャパンが日本のお客様向けに日本語で作成した参考用の資料です。
より詳細な内容、最新のバージョンについては、VIVOTEKウェブサイトの製品ページより英語版をダウンロードのうえご参照ください。

目次

安全上のご注意	3
廃棄について	3
概要	4
改訂履歴	4
ご使用になる前に	5
パッケージ内容	5
本マニュアルで使用される表示とその意味	6
各部の名称	6
ハードウェアのインストール(FD9167)	10
ソフトウェアのインストール	13
ハードウェアのインストール(FD9367)	17
ソフトウェアのインストール	23
ネットワークへの接続	32
使用準備完了	33
VIVOTEK 録画ソフトウェアの使用	37
メインページ	38
メディア > 画像	43
一般設定	43
IRコントロール	46
画像設定	48
露出	50
フォーカス(FD9167-HT、FD9367-HTV、FD9367-EHTV にて利用可能)	53
プライバシーマスク	55
Technology License Notice	64
Electromagnetic Compatibility (EMC)	65
責任	65
製品の譲渡または売却時のご注意	65

安全上のご注意

- 本機に物を落したり、強い衝撃を与えないで下さい。
- 本機のカバーの上に物を置かないで下さい。
- 本機から熱や煙が出た場合、ただちに使用をやめ本機からプラグを抜いて下さい。
- 異常がある場合は、お買い上げ取扱店へご連絡ください。
- 本機の分解、部品の取替えは、危険がある為 行わないで下さい。
- 感電の危険性があるため、カバーを外さないで下さい。
- 外観に破損がないかどうか確認してください。破損が見られた場合は使用を中止してください。
- アークや火花が生じる恐れのある場所を避けて使用して下さい。通気口をふさがないで下さい。
- 本機は、乾燥した涼しい風通しの良い空間で保管・使用をして下さい。また、燃えやすい物から離れた場所で保管・使用をして下さい。内部を冷却するためのファンが組み込まれている機器では、本機の前後に物を置かず、スペースを空けて下さい。
- 感電の危険性を減らすことと、腐食の防止のため、屋外設置ができない機器は雨や水しぶきのかかる場所で保管・使用をしないで下さい。
- 本機を使用していない時は、入力/出力プラグを取り外して下さい。
- 保証期間内であっても不正改造を発見した場合、保証の対象外とします。

廃棄について

企業でご使用のお客さまは、本製品を産業廃棄物として扱ってください。
本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

概要

FD9167/FD9367 シリーズは VIVOTEK の新しい技術を搭載した屋内仕様 (FD9167) / 屋外仕様 (FD9367) のドーム型ネットワークカメラです。1920 x 1080 の解像度で 30fps の撮影が可能なフル HD センサーを搭載しています。最新の VIVOTEK SNV および WDR Pro テクノロジーにより、FD9167/FD9367 シリーズは、低照度と高コントラストの両方の環境で最高品質の映像を撮影することができます。

FD9167/FD9367 シリーズは、夜間監視に最適な技術を提供します。VIVOTEK のスマート IR II テクノロジーを採用した FD9167/FD9367 の赤外線イルミネーターはバリフォーカルレンズの画角に合わせて、照射角度を調整します。この機能により、赤外線の強度が最適化され、有効距離が最大 30m に拡大されました。

さらに、FD9367 シリーズは VIVOTEK のスマートストリーム III テクノロジーと H.265 圧縮コーデックを採用しているため、従来の H.264 と比べて帯域幅を最大 90%* 削減しつつ、同等の優れた画質を維持できます。また、VIVOTEK VADP (VIVOTEK アプリケーション開発プラットフォーム) を使用して、ユーザーは各種のアプリケーションやシナリオに合わせてカスタマイズされたプログラムを追加できます。こうした機能の数々は FD9367 の IP66 と IK10 定格のハウジングにて保護され、-50°C~50°C (FD9367-EHTV) の温度範囲にて動作可能です。

* 環境に応じて異なります

改訂履歴

■ 改訂版 1.0：初版。

ご使用になる前に

監視装置の使用は各国の法律で禁じられている場合があります。本ネットワークカメラは高性能ウェブ対応カメラであるだけでなく、フレキシブルな監視システムの一部としても機能します。本製品を意図された目的に沿ってインストールする前に、こうした製品の使用が合法であることを確認するのはユーザーの責任となります。

以下のパッケージ内容を確認して、欠品がないことをまず確認してください。ネットワークカメラをインストールする前に、クイックインストールガイドのインストール前の注意をお読みください。続いて、組立とインストールを誤り故障することがないように、インストールの章にて指示内容を注意深く読み、従ってください。これで製品が意図通りに正しく使用できるようになります。

ネットワークカメラはネットワーク機器であり、基本的なネットワーク知識を有する方はすぐにご利用いただけるはずです。ビデオ共有や一般のセキュリティ/監視など、各種のアプリケーション用に設計されています。メインページの章にて、ネットワークカメラを最大限に活用して正しく操作するための方法が記載されています。

パッケージ内容

- FD9167-H、FD9167-HT、FD9367-HV、FD9367-HTV、または FD9367-EHTV
- L 形レンチ、乾燥剤パック(FD9367)、取付ネジ、アンカー。
- 防水用パッキンと側面配線用ブラケット(FD9367)。
- クイックインストールガイドとアライメントステッカー。

警告:

1. 赤外光が本製品から照射されます。
2. 適切なシールドや眼の保護を施してください。

重要:

ACアダプタを使用する場合は、電気用品安全法に基づく直流電源装置で特定電気用品  の適合証明を受けたものを使用してください。

ヒント:

- ファームウェアのアップグレード中に停電があった場合など、カメラを通常状態に復元させる作業が必要です。以下の指示に従い、カメラの動作を復元させてください:

適用される条件:

- (a) ファームウェアのアップグレード中の停電。
- (b) 何らかの理由により LED が異常のステータスを示し、通常動作状態に戻せない場合。

バックアップ用ファームウェアを用いて、以下の指示に従いカメラを復元させることができます:

- (a) リセットボタンを少なくとも 1 分間、押し続けます。
- (b) LED が赤色に素早く点滅し始めるまで、カメラの電源を切らないでください。
- (c) 電源を再起動後、ファームウェアはカメラが停止した直前のバージョンへ戻されます。(この作業には通常の起動プロセスより長い、5~10 分の時間がかかります。)このプロセスが完了すると、LED のステータスは通常状態へ戻ります。

本マニュアルで使用される表示とその意味



情報:誤作動や問題を防ぐための重要なメッセージやアドバイスを提供します。



ノート:本機器を正常に動作させることに関連したガイダンスやアドバイスを提供します。



ヒント:インストール、機能、プロセスを強化したり、便利にするための情報を提供します。



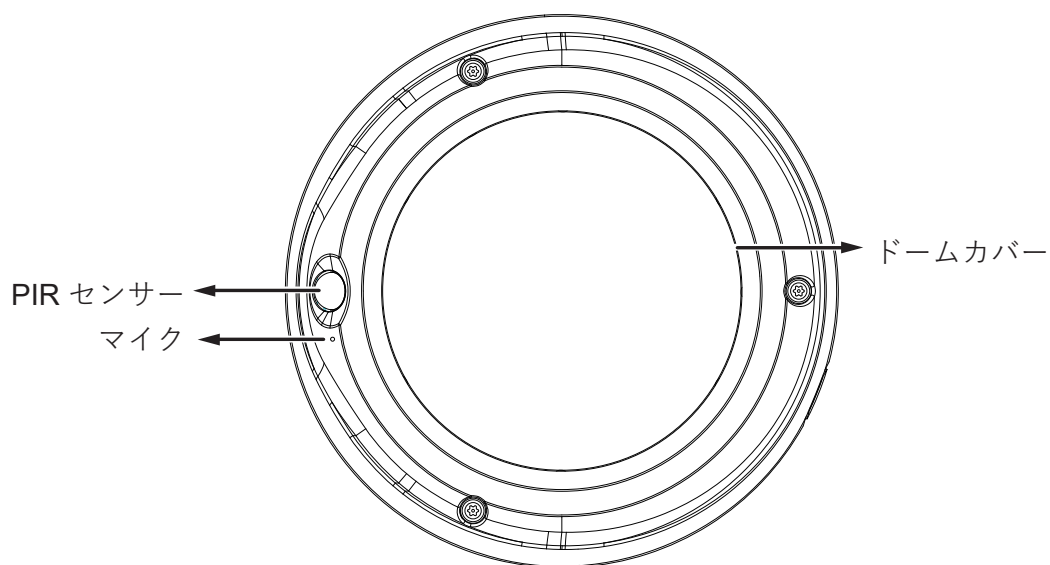
警告:または重要:機器または使用者に対して危険や災害となりうる状況を示します。



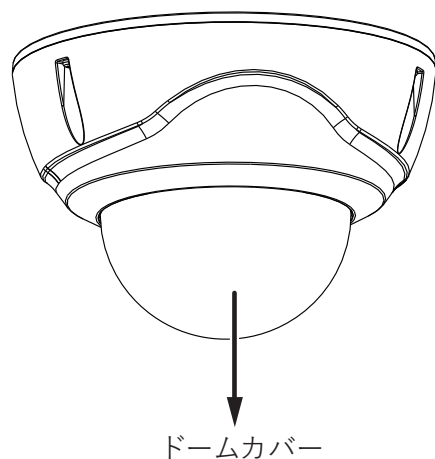
感電:使用者が高電圧の感電に晒される可能性を示します。

各部の名称

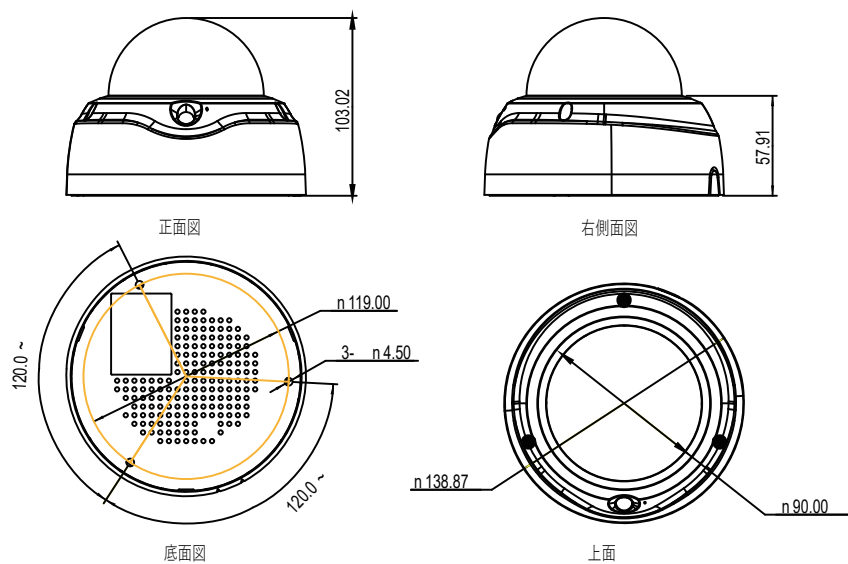
外観図(FD9167)



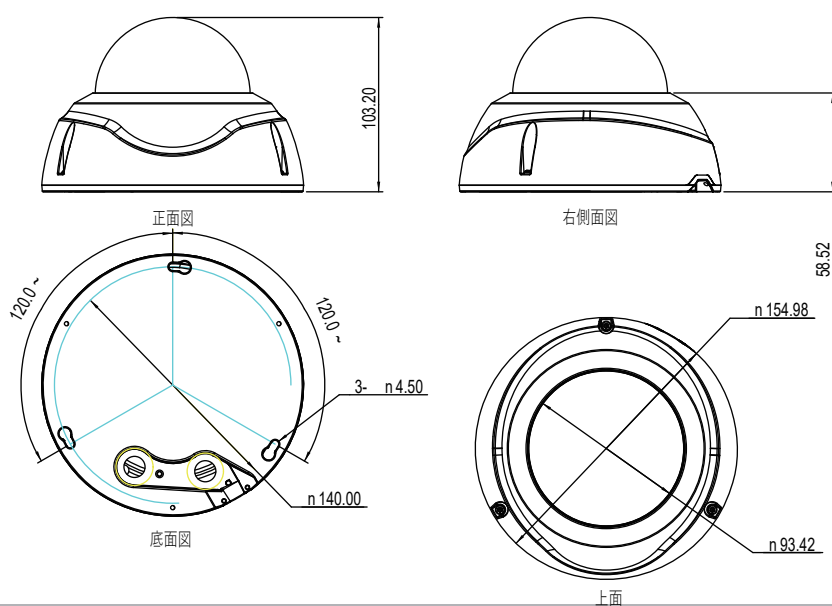
外観図(FD9367)



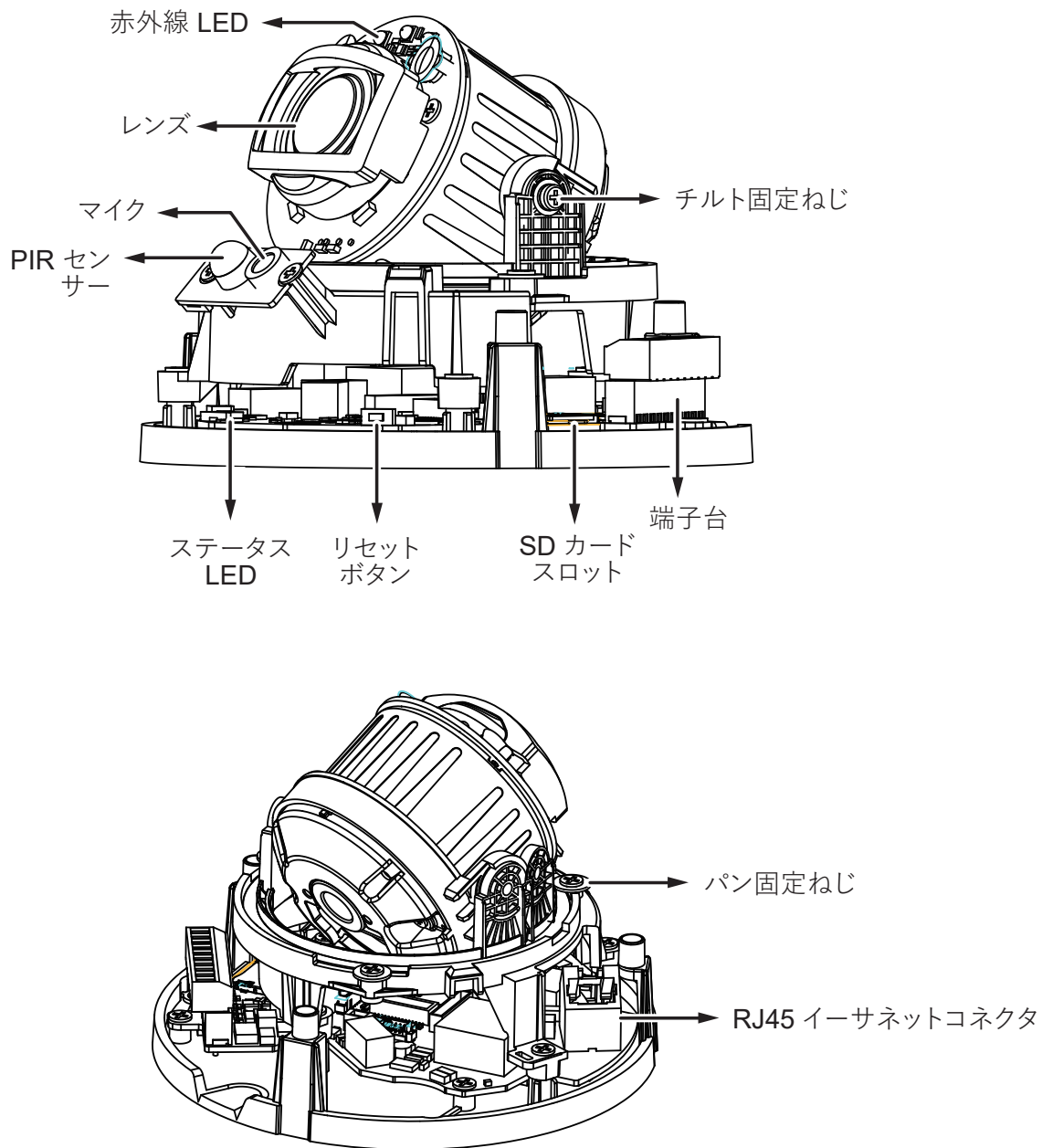
寸法(FD9167)



寸法(FD9367)



内部図(FD9167)

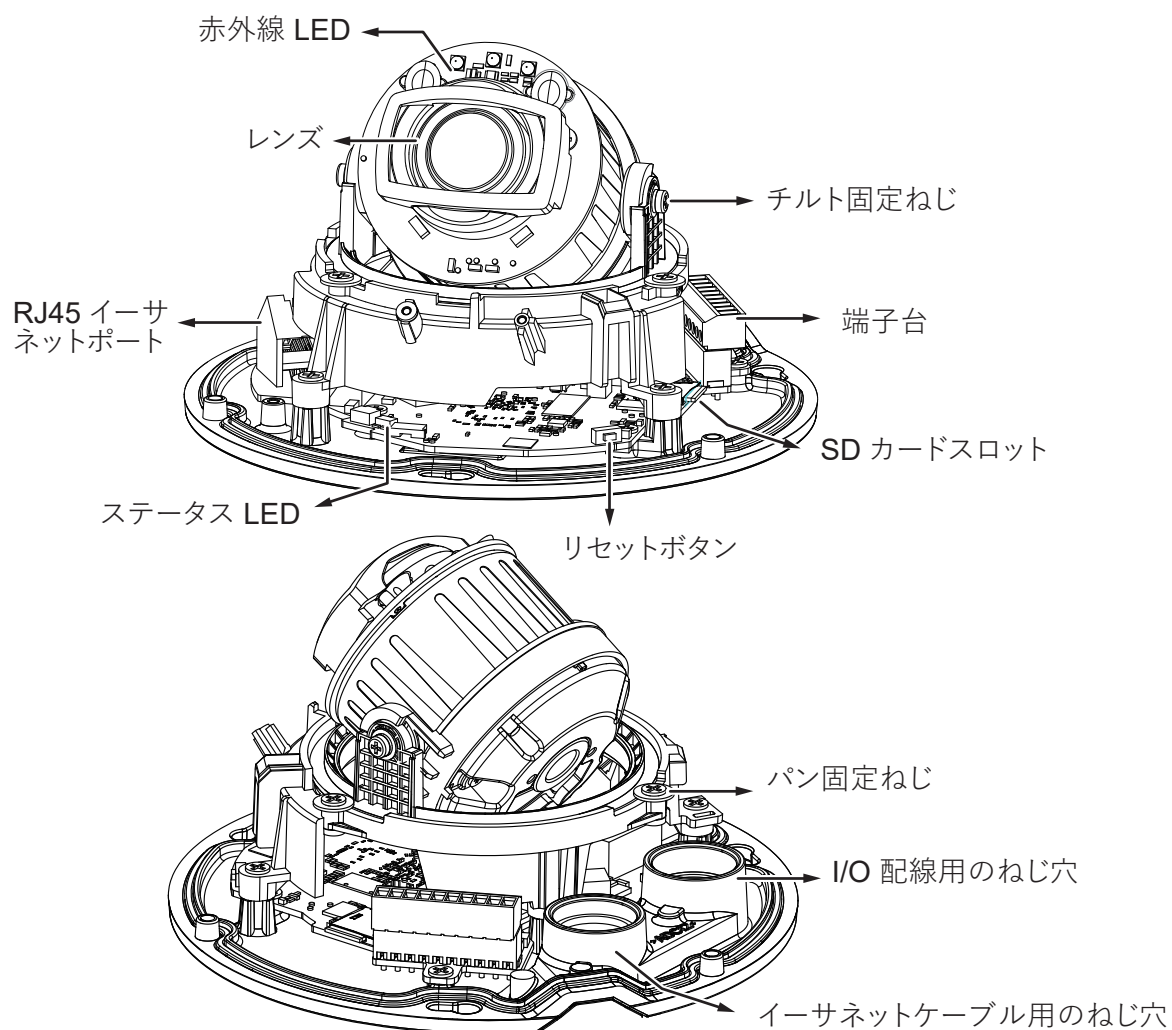


 ノート:

モデル名末尾のアルファベットは下記の機能を表します。

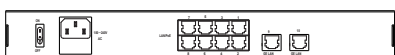
E	広範囲な温度に対応するためにヒーターを内蔵
Fx	焦点距離(xはその値)
T	リモートフォーカスレンズ内蔵
R	PoE リピーター内蔵
H	ワイドダイナミックレンジ機能内蔵

内部図(FD9367)

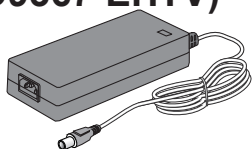


⚠ 重要:ヒーターを内蔵したモデルについて

IEEE802.3at仕様 PoEスイッチ



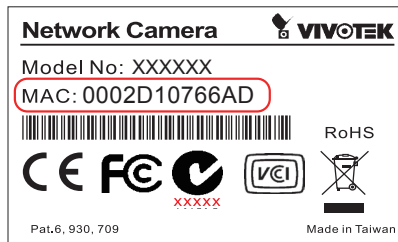
DC12V 2A
(FD9367-EHTV)



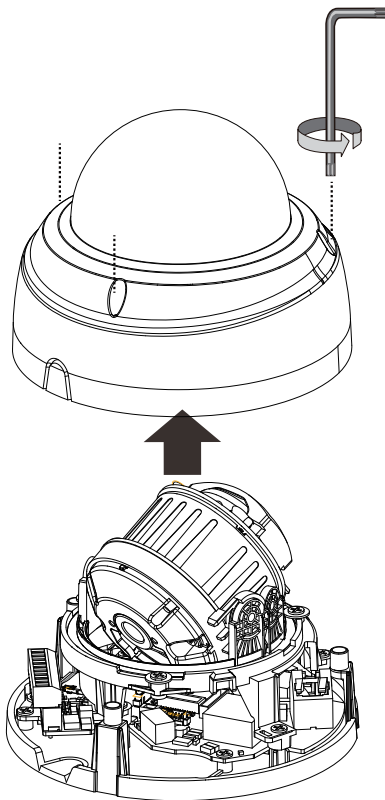
FD9367-EHTV はヒーターを内蔵しており、802.3at PoE スイッチまたは DC12V 2A 電源が必要です。

ハードウェアのインストール(FD9167)

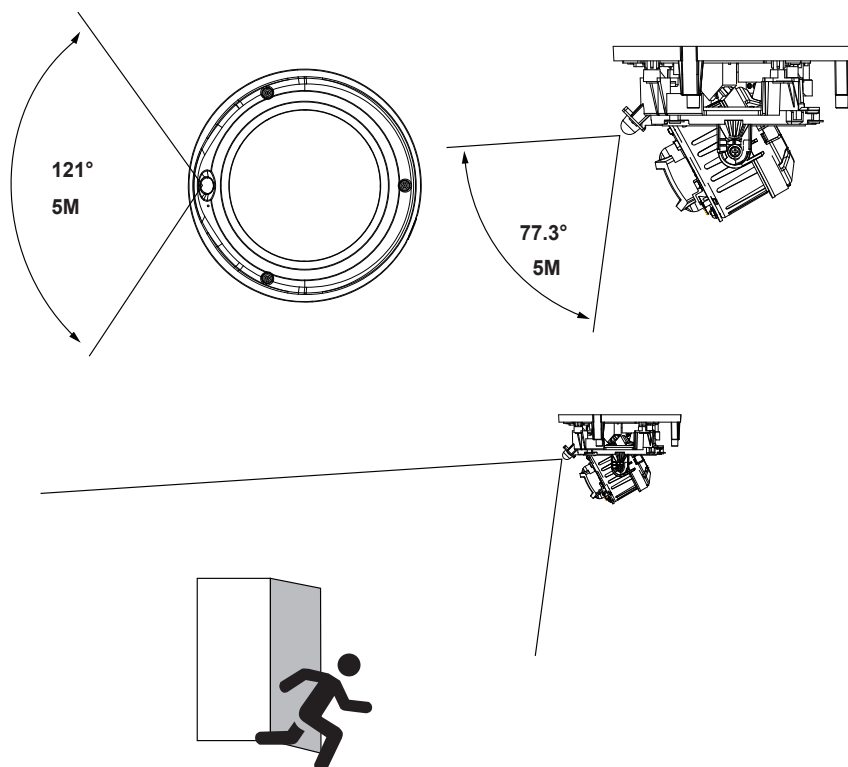
1. あとで参照するために、カメラの MAC アドレスをメモします。



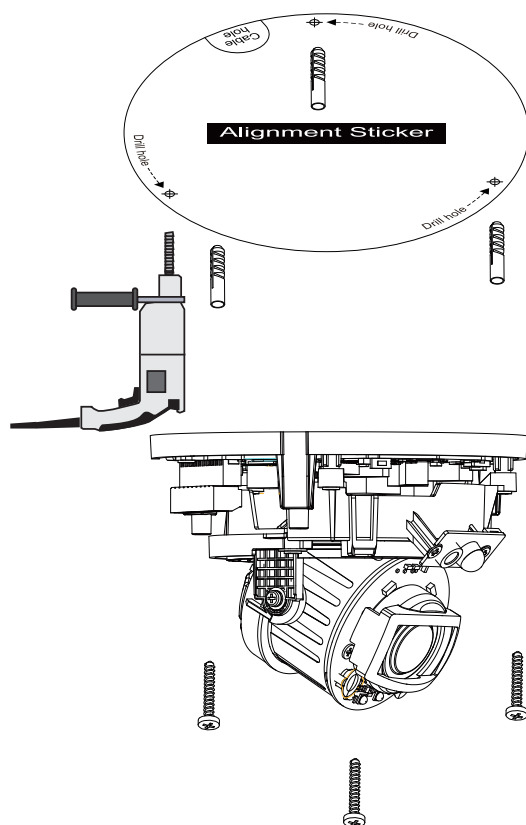
2. 付属品のレンチを使用してドームカバーを取り外します。



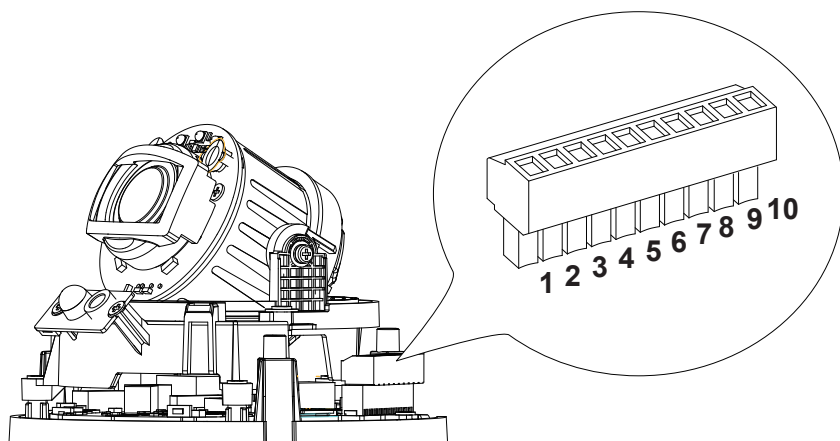
3. インストール位置を決定する際に、以下に示された PIR センサーの方向に注意してください。



4. アライメントステッカーをカメラを設置する場所に貼り付け、取付穴をドリルで空けます。プラスチック製アンカーをハンマーで埋め込みます。次に、必要に応じて天井/壁へケーブル用の穴をあけ、ケーブルを穴に通します。最後に付属のねじを使用してカメラベースを天井/壁に固定します。



5. 外部 I/O や DC12V 電源を接続する場合は、端子台を使用して接続します。ピン配置は下記の通りです。



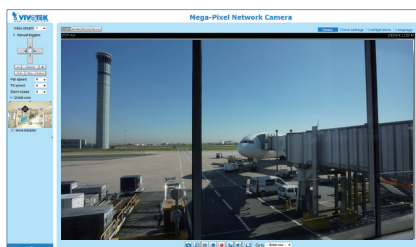
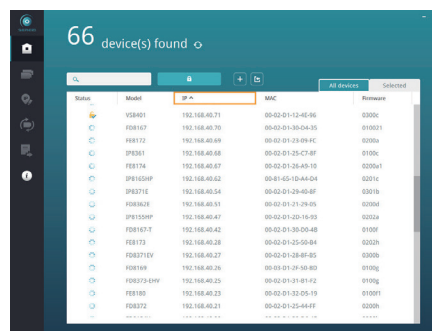
番号	名前
1	EXT_MIC_N
2	EXT_MIC_P
3	Audio_out-
4	Audio_out+
5	DI-
6	DI+
7	DO-
8	DO+(5V)
9	12V DC- IN
10	12V DC+ IN

6. 「Shepherd」ユーティリティソフトをインストールするには VIVOTEK のウェブサイトをご覧ください。このプログラムは同一の LAN 上に配置されている VIVOTEK ビデオレシーバー、ビデオサーバー、ネットワークカメラを検索します。

カメラの MAC アドレスをダブルクリックすると、カメラのウェブコンソールが開きます。



Shepherd



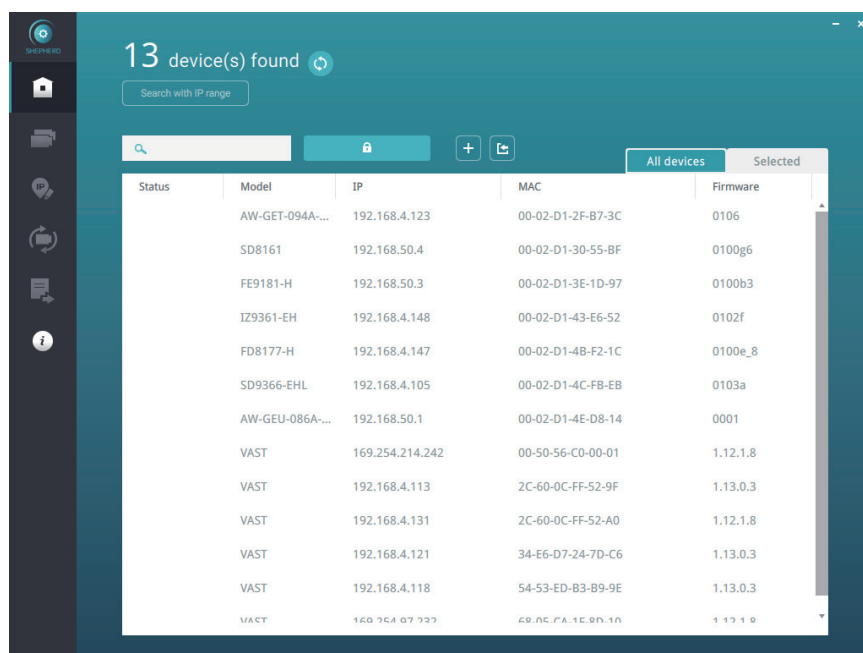
ソフトウェアのインストール

7. Shepherd ユーティリティソフトをインストールします。お使いのローカルネットワーク上でネットワークカメラを検索して設定する際に役立ちます。カメラに CD が付属していない場合は、VIVOTEK のウェブサイトへ移動し、**Product (プロダクト) > Software (ソフトウェア)**のページから **Shepherd** を見つけてください。

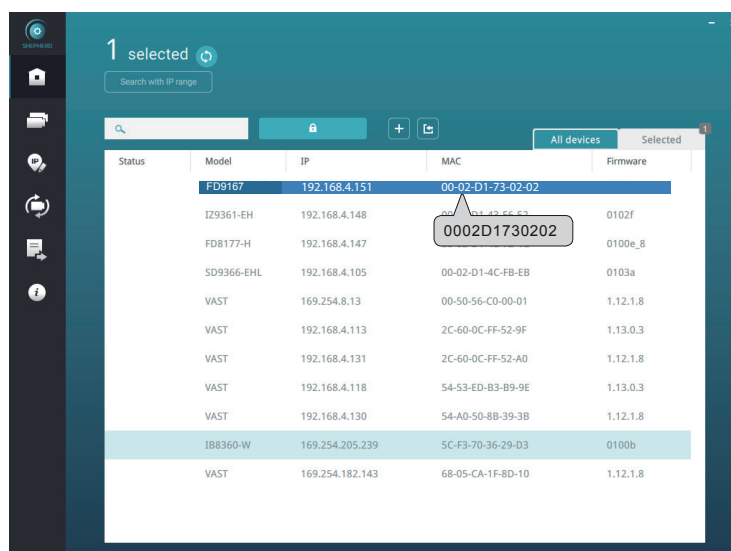


- 7-1. Shepherd をダウンロードしてアプリケーションを実行します。

- 7-2. このプログラムはお使いのネットワーク環境を分析します。



- 7-3. このプログラムは同一の LAN 上に存在する全ての VIVOTEK ネットワークデバイスを検索します。
- 7-4. 検索後、インストーラーのウィンドウが開きます。製品ラベルに記載されている **MAC**ナンバーと同じモデル名をクリックすると、ネットワークカメラの管理画面が開きます。

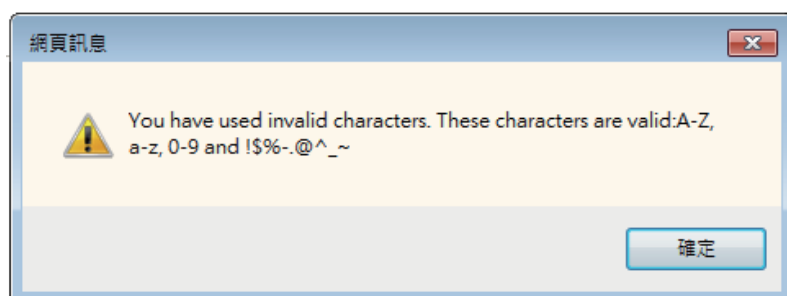


強制パスワード構成

8. カメラに初めてログインする場合、カメラはセキュリティ対策用にパスワード設定を促します。
- 8-1. カメラの工場出荷時点では、パスワードは存在していません。カメラの管理者はパスワードを設定しなくてはなりません。

- 8-2. パスワードを英数字と一部の記号を組み合わせて設定します。パスワードの強度要求を満たすように入力してください。カメラの管理者のユーザー名は「root」です。これは変更できません。

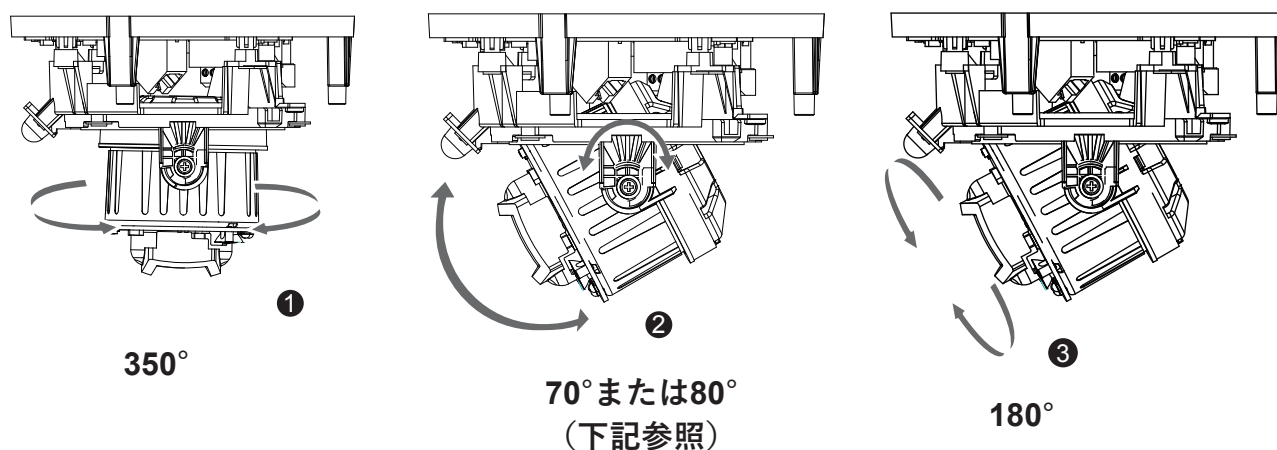
一部の ASCII 文字がパスワードに使用できます: !, \$, %, -, ., @, ^, _, ~。



- 8-3. カメラ管理者のパスワードが設定されましたので、次に改めてログイン画面が表示されます。ここで管理者としてログインするのであれば、ユーザー名の「root」と今設定したパスワードを入力します。パスワードを入力すると、カメラのウェブコンソール画面が開きます。



9. カメラの固定ねじを少し緩めて(完全に外さないでください)、カメラの撮影方向を調整します。レンズの向きを上下左右に動かしたり、回転させることができます。

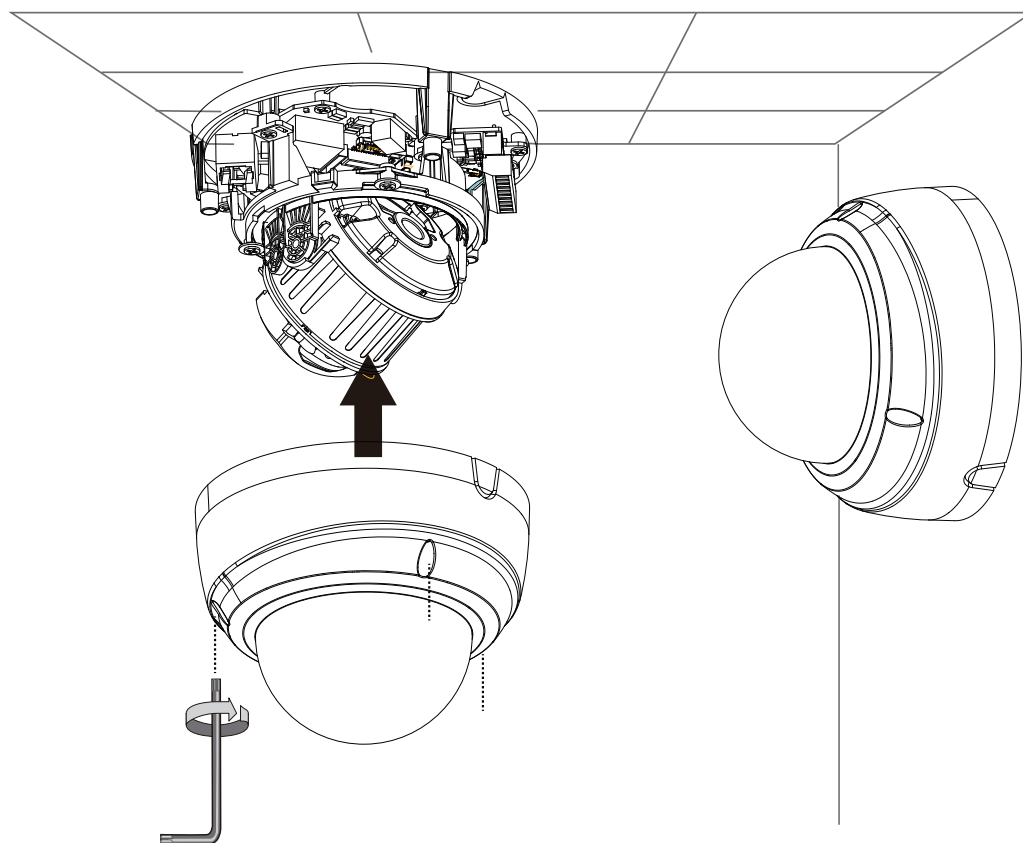


固定レンズモデル:FD9167-HとFD9367-HV のチルト角は最大 70° です。70° を超えて傾斜させると、夜間モードで赤外線の写真が起る場合があります。

リモートフォーカスレンズモデル:FD9167-HT、FD9367-HTV、FD9367-EHTV のチルト角は最大 80° です。

10. カメラの撮影方向が定まったら、固定ねじを締め付けます。

11. ドームカバーを取り付けます。

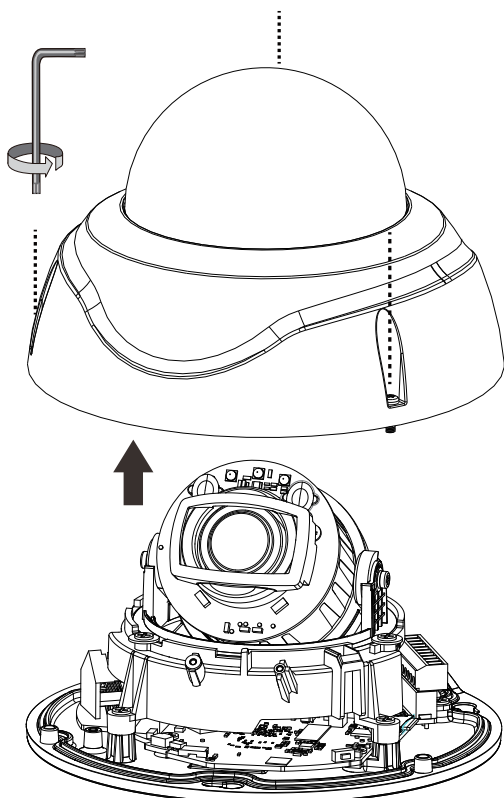


ハードウェアのインストール(FD9367)

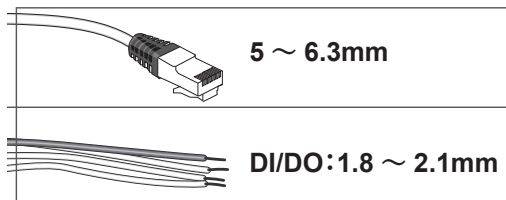
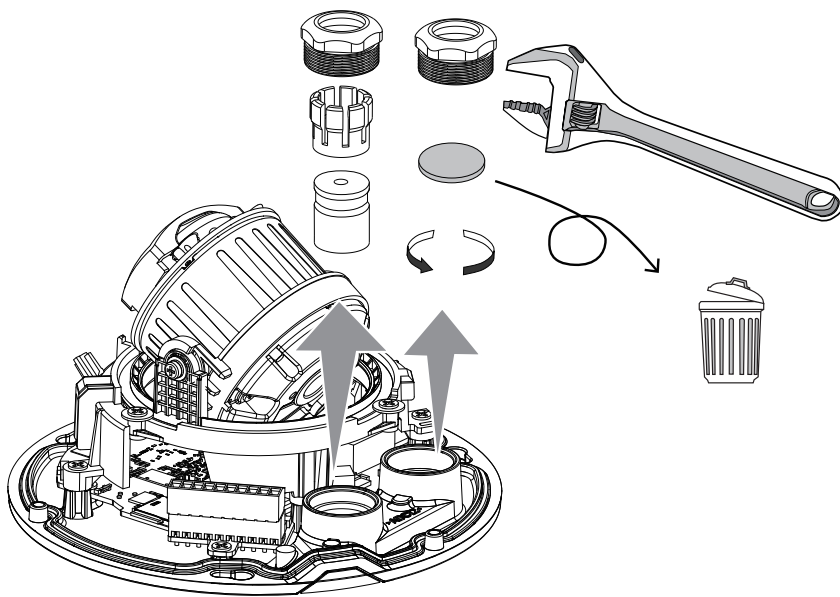
1. あとで参照するため、カメラの MAC アドレスをメモします。



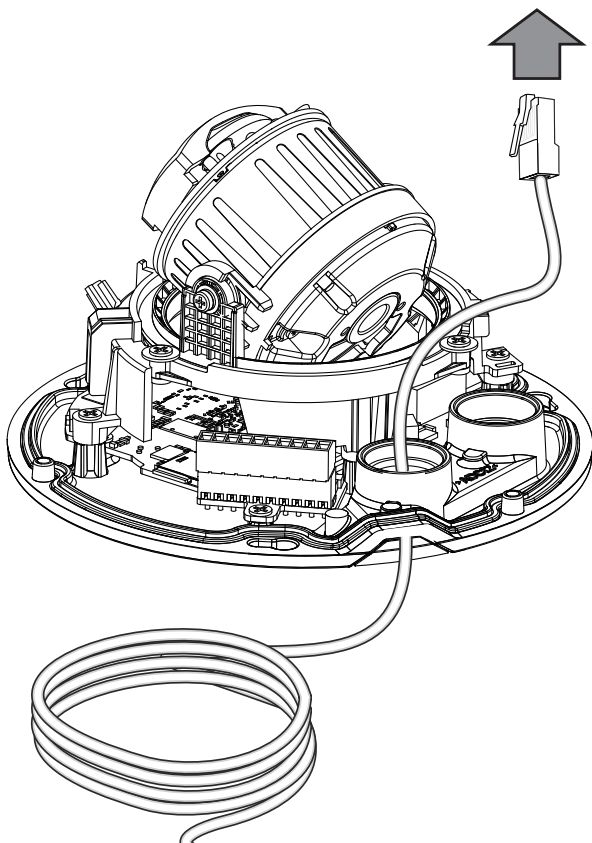
2. 付属品のレンチを使用してドームカバーを取り外します。



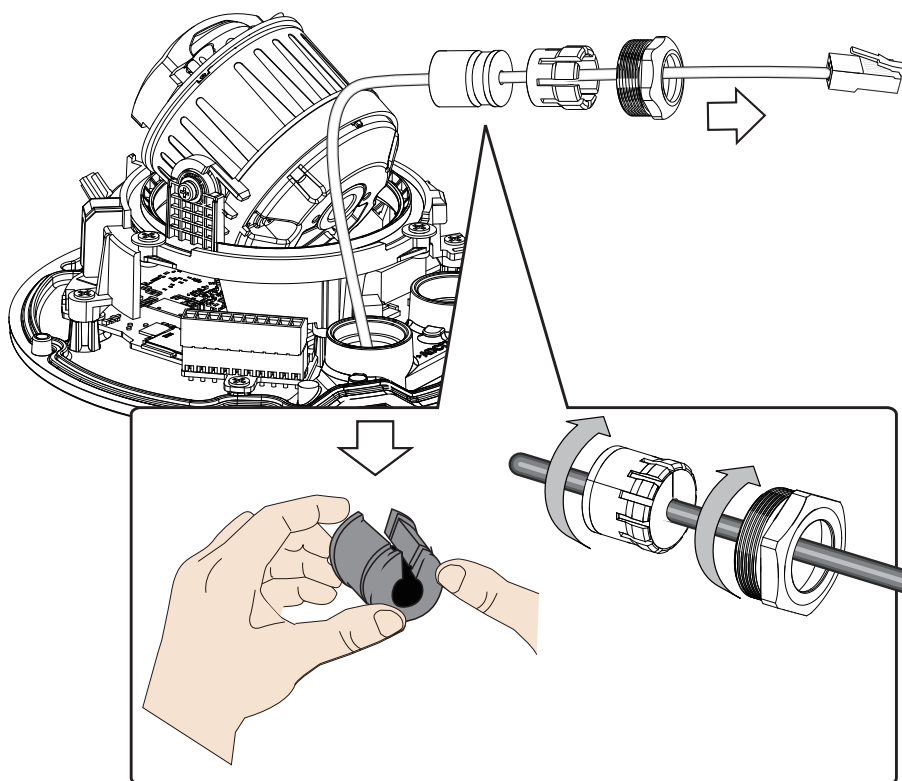
3. カメラから防水用のパッキン押え部品とゴム製のパッキンを取り外します。



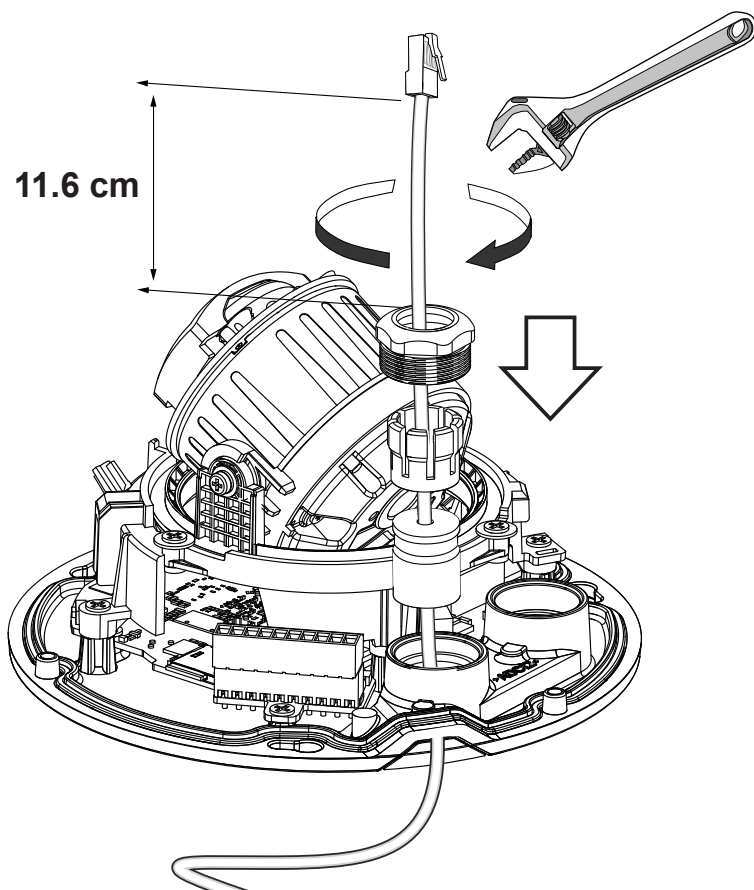
4. カメラのイーサネット用のねじ穴を通してイーサネットケーブルを配線します。



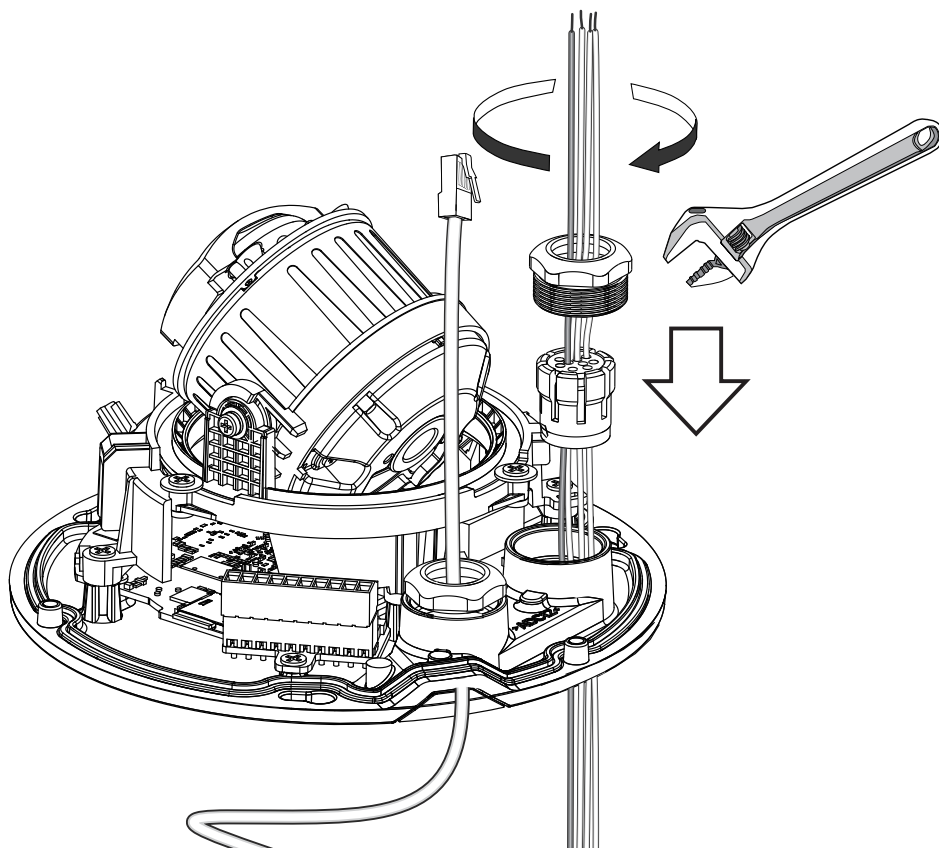
5. ゴム製パッキン、パッキン押え、シールナットをイーサネットケーブルへ取り付けます。



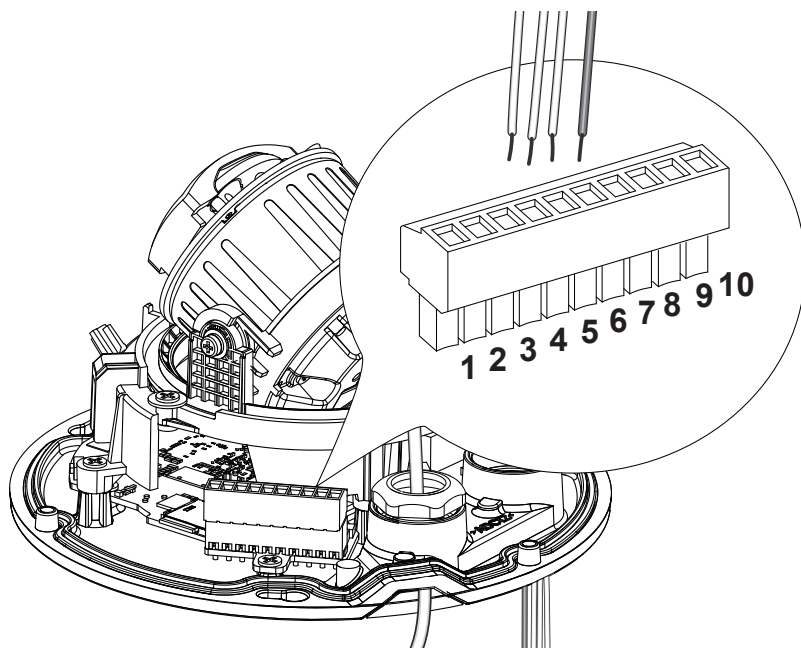
6. カメラ内に約 11.6cm のケーブル長を確保して、ゴム製パッキンとパッキン押えをシールナットで締め付けます。イーサネットケーブルをカメラの RJ45 コネクタに接続します。



7. DI/DO、電源ケーブルを防水用パッキンを通して挿入し、その後シールナットで締め付けます。この防水用パッキンは、ケーブルの有無に関係なく取り付け必要があります。さもないと、湿気や水分が浸入する可能性があります。

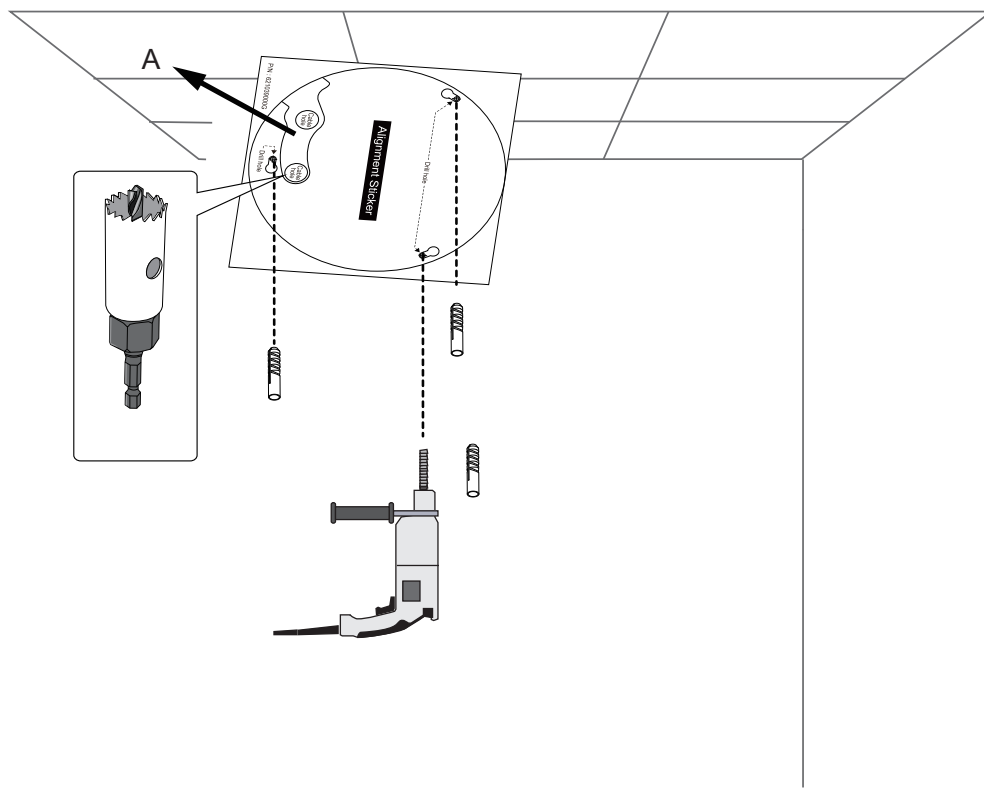


端子台のピン配置は下記の通りです。

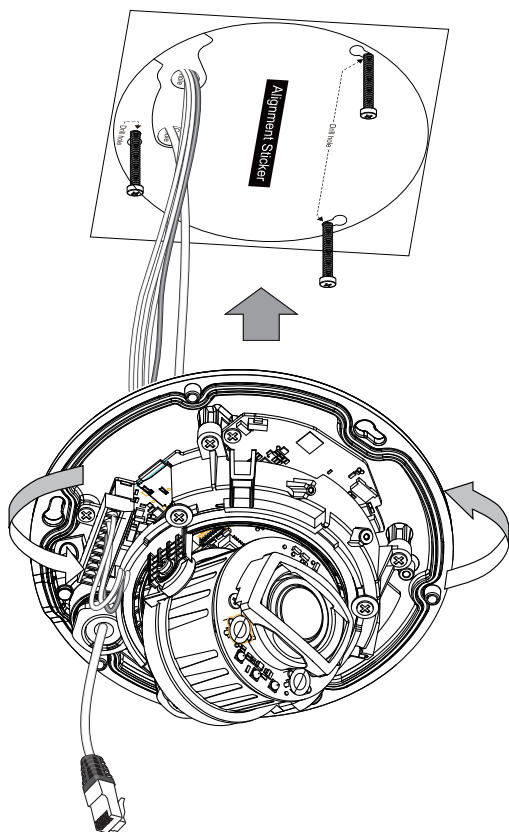


番号	名前
1	EXT_MIC_N
2	EXT_MIC_P
3	Audio_out-
4	Audio_out+
5	DI-
6	DI+
7	DO-
8	DO+(5V)
9	12V DC- IN
10	12V DC+ IN

8. アライメントステッカーを使用して、天井または壁に取付用のドリル穴と配線用の穴を開けます。付属品のアンカーをハンマーで打ち込み、付属品のねじ3本を取り付けます。

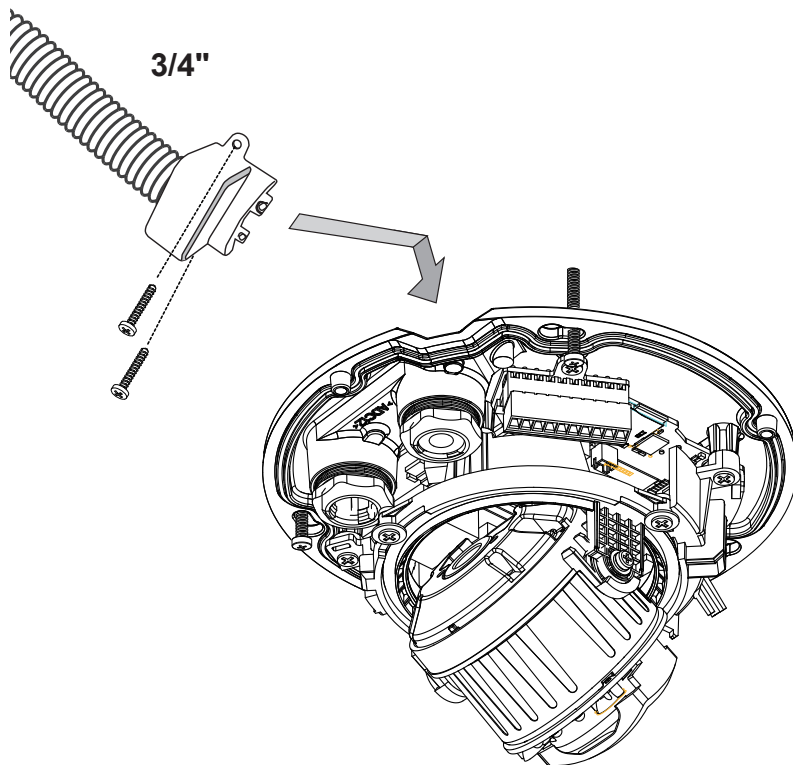


9. ねじは完全に締め付けない状態にしておきます。ケーブルを配線用の穴へ通し、カメラの取付用ねじ穴に、ねじの頭を通してカメラを取り付けます。カメラを反時計回りに回し、続いてねじを締め付けてカメラを固定します。

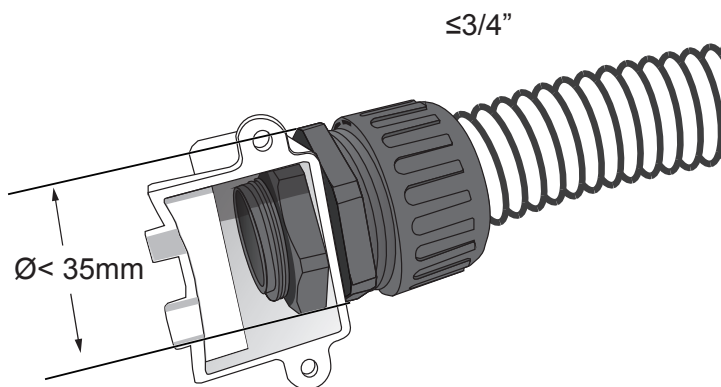




ケーブルをカメラの側面から配線する場合は、側面配線用ブラケットを取り付けます。3/4" 電線管は付属していません。



35mm より大きなナットを伴う電線管は使用しないでください。



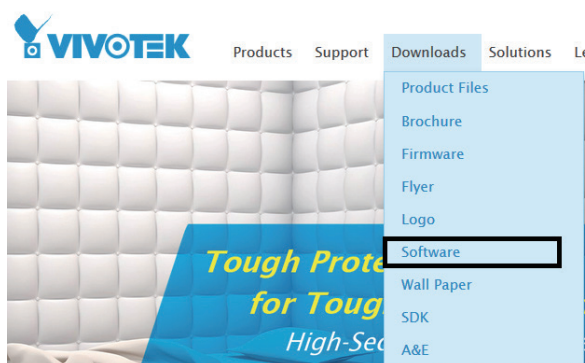
10. 「Shepherd」ユーティリティソフトをインストールするには VIVOTEK のウェブサイト
にアクセスしてください。このプログラムは同一の LAN 上に配置されている
VIVOTEK ビデオレシーバー、ビデオサーバー、ネットワークカメラを検索します。

カメラの MAC アドレスをダブルクリックすると、カメラのウェブコンソールが開き
ます。



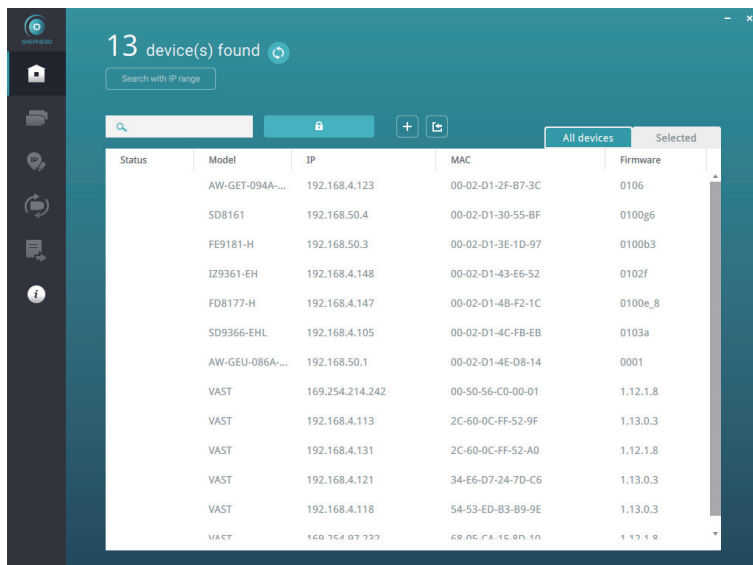
ソフトウェアのインストール

11. **Shepherd** ユーティリティソフトをインストールします。お使いのローカルネットワ
ーク上でネットワークカメラを検索して設定する際に役立ちます。カメラに CD が付
属していない場合は、VIVOTEK のウェブサイトへ移動し、**Product(プロダクト) >**
Software(ソフトウェア)のページから **Shepherd** を見つけてください。



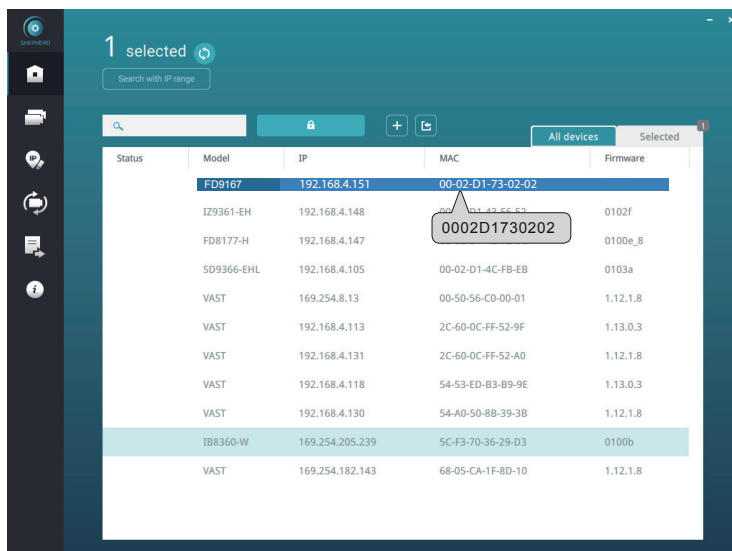
11-1. Shepherd をダウンロードしてアプリケーションを実行します。

11-2. このプログラムはお使いのネットワーク環境を分析します。



11-3. このプログラムは同一の LAN 上に存在する全ての VIVOTEK ネットワークデバイスを検索します。

11-4. 検索後、インストーラーのウィンドウが開きます。製品ラベルに記載されている **MAC** ナンバーと同じモデル名をクリックすると、ネットワークカメラの管理画面が開きます。



強制パスワード構成

12. カメラに初めてログインする場合、カメラはセキュリティ対策用にパスワード設定を促します。

12-1. カメラの工場出荷時点では、パスワードは存在していません。カメラの管理者はパスワードを設定しなくてはなりません。

12-2. パスワードを英数字と一部の記号を組み合わせで設定します。パスワードの強度要求を満たすように入力してください。カメラの管理者のユーザー名は「root」です。これは変更できません。

VIVOTEK
www.vivotek.com

言語

FE9181-H

パスワードの設定
スペースを含まず、アルファベット 1 文字
(大文字または小文字) と数字 1 文字を含む 8 文字以上

ユーザー名: root

ユーザーパスワード: Invalid password

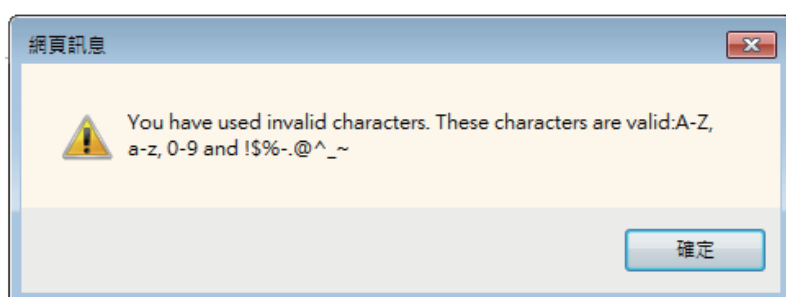
ユーザーパスワードの確認:

☐ HTTPS 安全接続を有効にする

*新しいパスワードはすべての接続に適用されます

保存 キャンセル

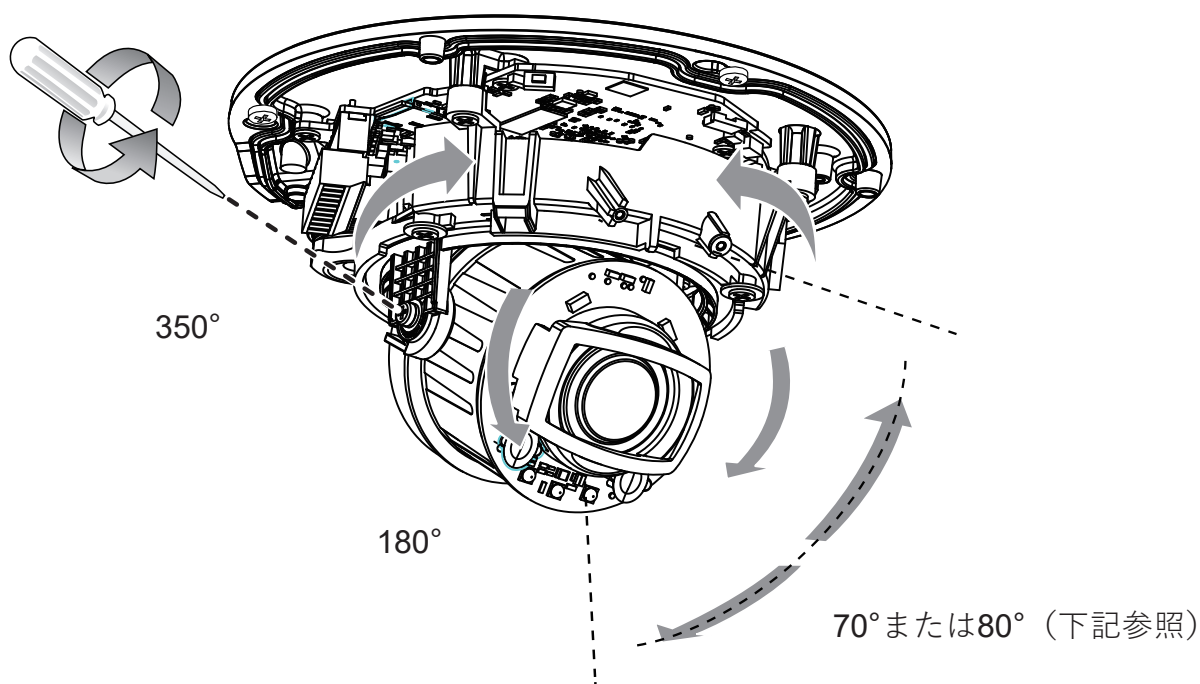
一部の ASCII 文字がパスワードに使用できます: !、\$、%、-、.、@、^、_、~。



- 12-3. カメラ管理者のパスワードが設定されましたので、次に改めてログイン画面が表示されます。ここで管理者としてログインするのであれば、ユーザー名の「root」と今設定したパスワードを入力します。パスワードを入力すると、カメラのウェブコンソール画面が開きます。



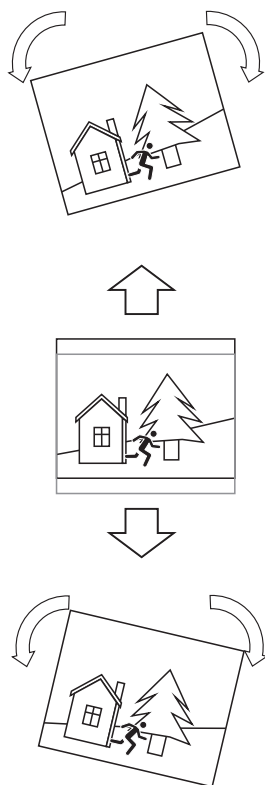
13. カメラの固定ねじを少し緩めて(完全に外さないでください)、カメラの撮影方向を調整します。カメラのレンズの向きを上下左右に動かしたり、回転させることができます。



固定レンズモデル:FD9167-H と FD9367-HV のチルト角は最大 70° です。70° を超えて傾斜させると、夜間モードで赤外線の影響が起る場合があります。

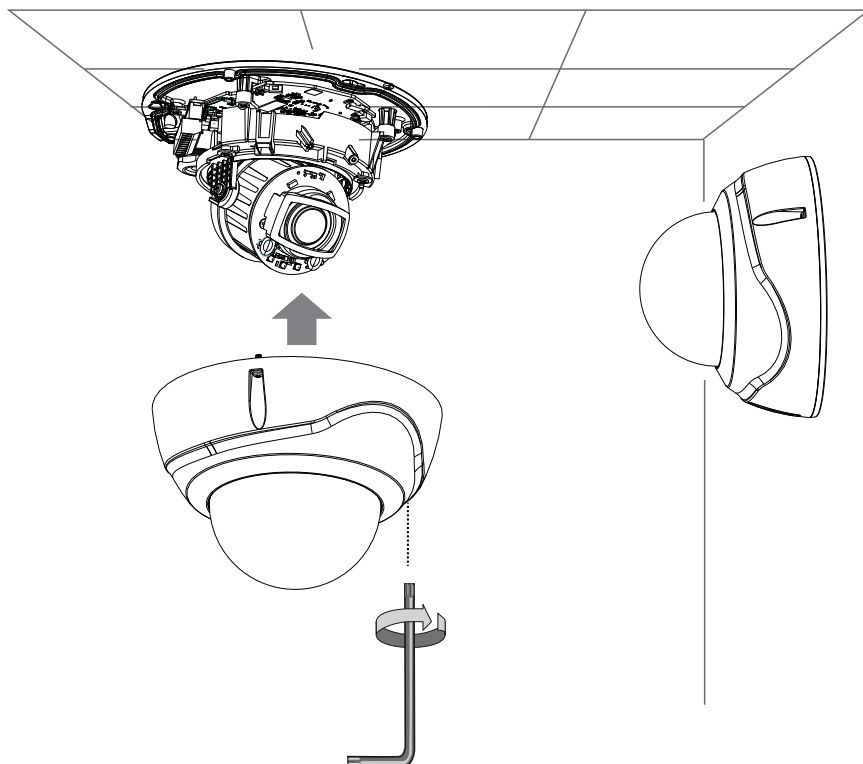
リモートフォーカスレンズモデル:FD9167-HT、FD9367-HTV、FD9367-EHTV のチルト角は最大 80° です。

14. カメラの画面を見ながら、撮影方向を調整します。



15. カメラの撮影方向が決まったら、固定ねじを締め付けます。

16. ドームカバーを取り付けます。



ノート:

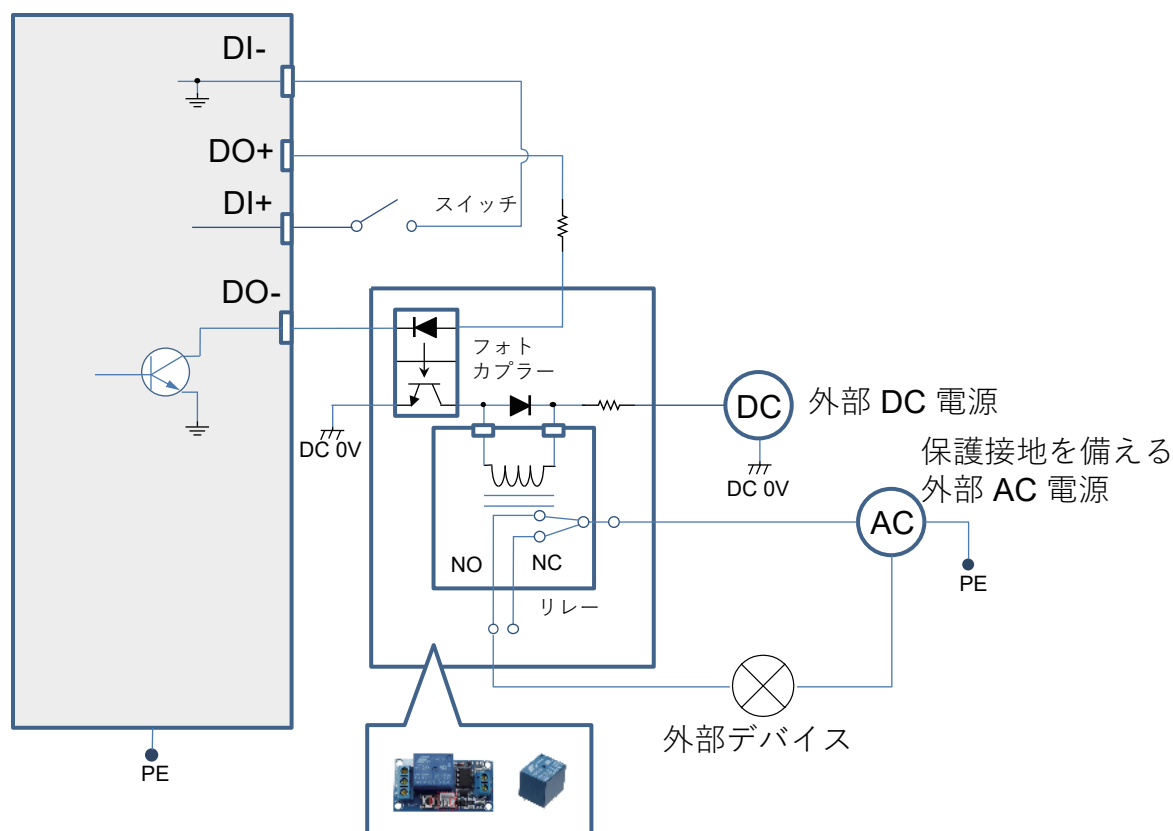
モデル名末尾に「T」の付くカメラにはリモートフォーカスレンズが搭載されています。リモートで画面を見ながらズームとフォーカスの調整ができます。ウェブコンソール画面の「構成」ボタンをクリックします。**Configuration(構成) > Media(メディア) > Image(画像) > Focus(フォーカス)**ページへ移動します。画面にライブストリームが表示されます。ズームボタン、またはポインターを操作して画角を設定します。「**Perform Auto Focus(オートフォーカスを実行)**」ボタンをクリックすれば、画像の焦点を自動的に合わせることができます。ライブビューを使用して、画像の焦点が合っていることを確かめてください。



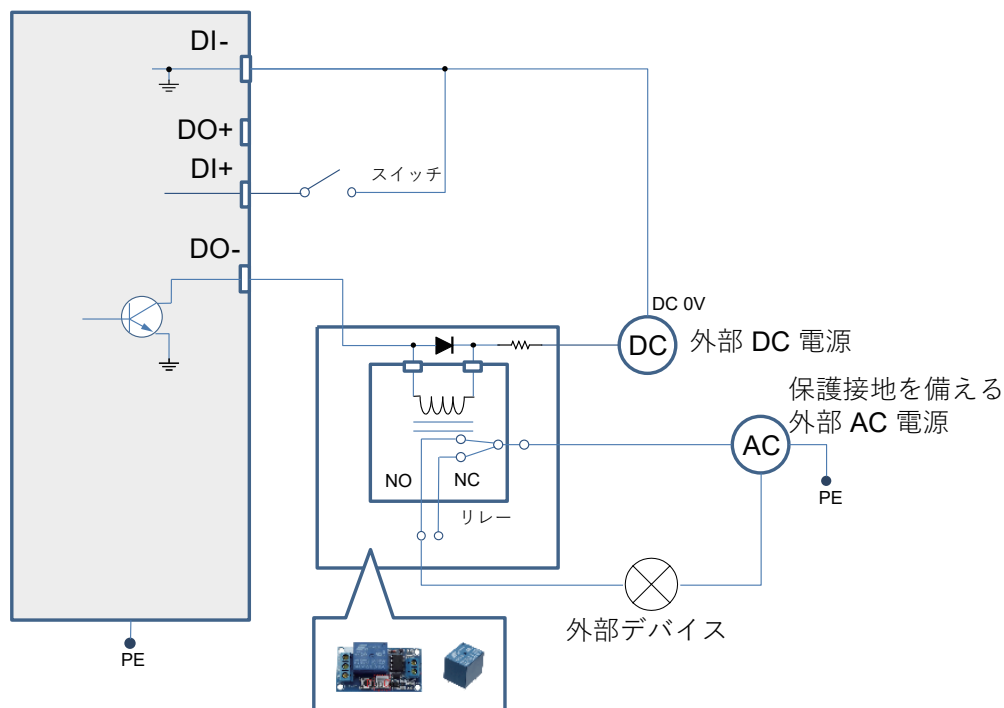
DI/DO 回路図

1. DO+ ピンは 5V を出力し、最大出力電流は 50mA です。
2. DO- ピンの最大電圧は 30VDC(外部電源)です。
AC 機器を制御する場合は、以下の回路図を参考にしてください。この例ではリレーを使用して AC 機器のオン/オフを制御しています。
3. 使用するリレーの種類によって、DO+ または外部電源を使用して、リレーをオン/オフさせることができます。
4. リレーモジュールを使用せず個別のリレーを使用する場合は、瞬間的な電圧や電流から保護するため、過電圧保護用のダイオードをコイルと並行に接続する必要があります。

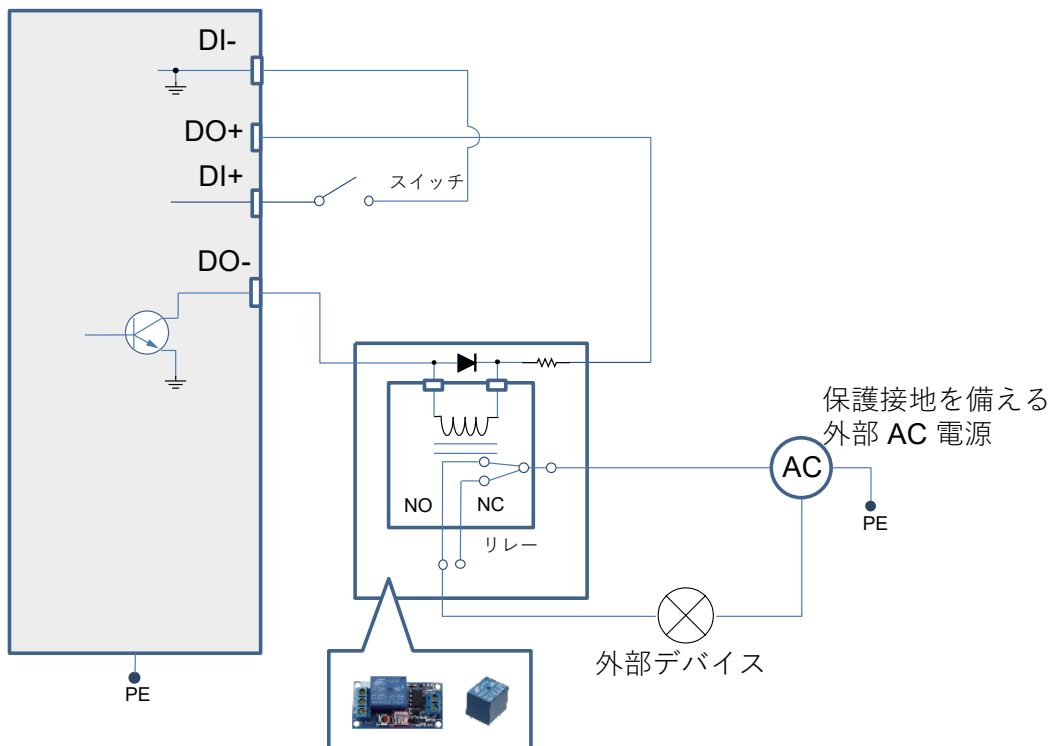
リレーの駆動用外部 DC 電源をカメラと絶縁する場合の例。この方法はデバイスを保護する上で最も安全な接続です。



リレーの駆動用外部 DC 電源をカメラが直接 ON/OFF する場合の例



リレーの駆動用電源をカメラから供給して ON/OFF する場合の例



LED の動作

	アイテム	LEDステータス	説明
LEDの動作	1	赤色が点灯	電源オンとシステム起動中、またはネットワーク障害
		赤色 LED がオフ	電源オフ
		緑色 LED がオフ	ネットワークが切断されています
	2	赤色が点灯し緑色 LED が 1 秒毎に点滅。	ネットワークに接続されています
	3	緑色 LED が 1 秒毎に点滅し、赤色 LED が 0.15 秒毎に点滅。	ファームウェアのアップグレード中
	4	緑色と赤色が 0.15 秒毎に点滅。	工場出荷時のデフォルト状態へ復帰中
	5	赤色 LED が点灯し、緑色 LED が点滅。	リセット後のステータス(ネットワークに接続されています)
		緑色と赤色 LED が常時点灯。	リセット後のステータス(ネットワークから切断されています)

ハードウェアのリセット

リセットボタンはシステムをリセットしたり、出荷時のデフォルト設定を復元させる場合に使用します。システムをリセットさせてカメラを正常動作させるときに使うことがあります。リセット後もシステムの問題が継続する場合は、出荷時のデフォルト設定を復元させて再度インストールしてください。

リセット：カメラ内部にあるリセットボタンを押し、離します。ネットワークカメラが再起動するのを待ちます。

復元：ステータス LED が素早く点滅し始めるまで、リセットボタンを押し続けます。すべての設定が出荷時のデフォルト設定に復元される点にご注意ください。復元が完了すると、ステータス LED は緑色が点滅し、通常動作に戻ると赤色が点灯します。

SD/SDHC/SDXC カードの容量

本ネットワークカメラは MicroSD/SDHC/SDXC 16GB/8GB/32GB/64GB およびその他の標準 SD カードに対応します。

重要:

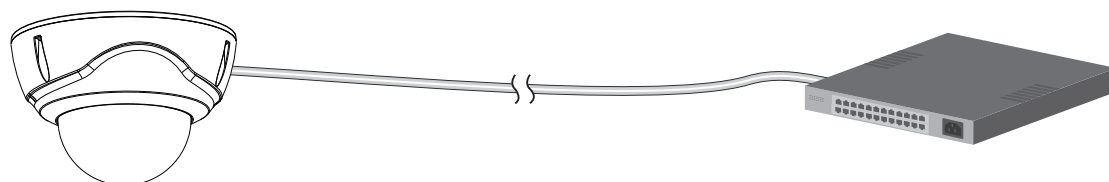
DC 電源を使用する場合は、次の規格に適合したACアダプタを使用してください。：出力：12VDC、最低 1A または 2A (FD9367-EHTVのみ)、電気用品安全法に基づく直流電源装置で特定電気用品  の適合証明を受けたもの。

ネットワークへの接続

標準接続(PoE)

● PoE 対応スイッチを使用する場合

本ネットワークカメラは PoE に準拠しており、一本のイーサネットケーブルを使用して電源とデータの両方を転送できます。以下の図に従い、イーサネットケーブルを通じてネットワークカメラを PoE 対応スイッチへ接続してください。



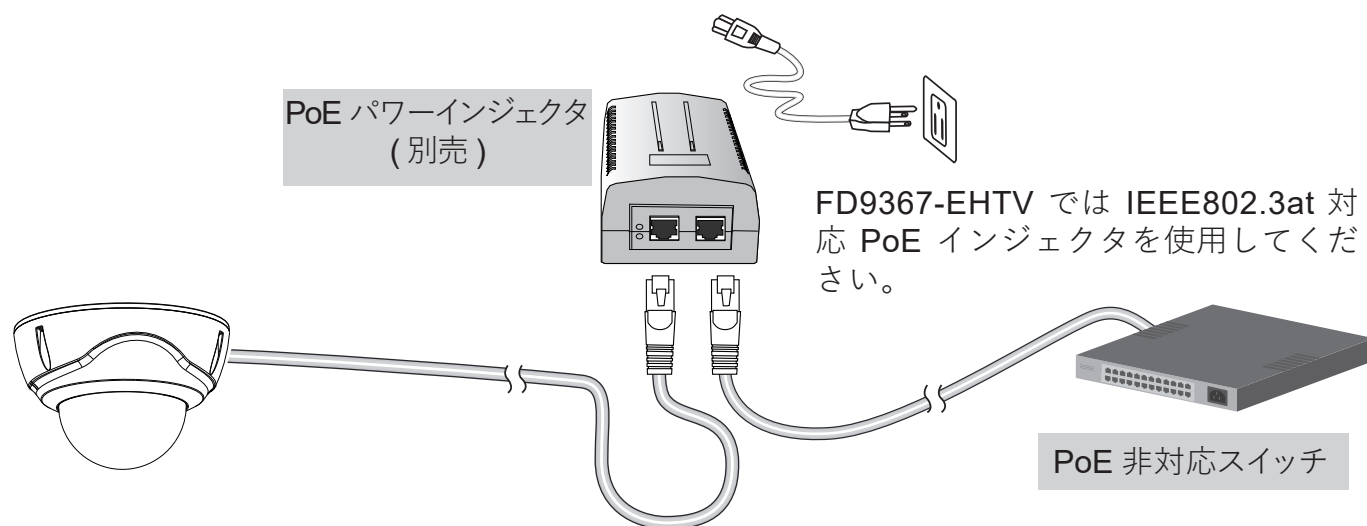
IEEE802.3af 対応

PoE スイッチ

FD9367-EHTV では IEEE802.3at 対応 PoE スイッチを使用してください。

● PoE 非対応 スイッチを使用する場合

PoE パワーインジェクタ(別売)を使用してネットワークカメラとスイッチ間を接続します。



FD9367-EHTV では IEEE802.3at 対応 PoE インジェクタを使用してください。

PoE 非対応スイッチ

ノート:

本カメラは屋内に配線されたPoEネットワークに接続してください。

使用準備完了

1. ネットワークカメラのブラウザ画面が以下のように表示されます。
2. 複数のカメラを設置する場合は、**32 チャンネル録画ソフトウェア**をインストールすることもできます。インストールの詳細については、**VIVOTEK の WEB** を参照してください。



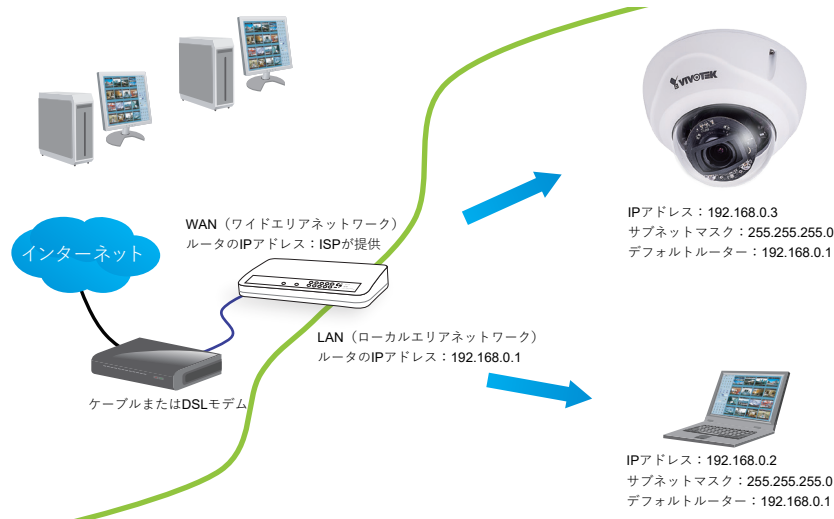
重要:

- FD9367-EHTV などモデル名の末尾に「E」を含むカメラは、低温環境においても動作できます。しかし、これらのカメラを **-40°C** などの超低温条件で起動させる場合、内蔵のヒーターがカメラを温めるまで **30 分**程度かかります。カメラケース内部の温度が **-10°C** に達すると、カメラは自動的に起動します。

ルーターを経由したインターネット接続

ネットワークカメラのインターネット接続を設定する前に、ルーターを用意して以下のステップに従ってください。

1. ネットワークカメラをルーターのローカル側に接続します。インターネット接続の環境を以下に示します。IP アドレスの取得方法は、23 ページのソフトウェアインストールの章に詳細が記載されています。



2. この例では、ネットワークカメラのローカルエリアネットワーク(LAN)IP アドレスが 192.168.0.3 であり、ルーターは以下のポートの通信をネットワークカメラへ転送します。

- HTTP ポート：デフォルトは 80
- RTSP ポート：デフォルトは 554
- RTP ポート(ビデオ用)：デフォルトは 5556
- RTCP ポート(ビデオ用)：デフォルトは 5557

ネットワークの設定でポート番号を変更している場合は、ルーターにて該当するポートを開いてください。ルーターでポートの通信を転送する方法は、ルーターのユーザーマニュアルを参照してください。

3. お使いの ISP(インターネットサービスプロバイダ)から提供される、ルーターのパブリック IP アドレスを見つけます。
パブリック IP とセカンダリ HTTP ポートを使用して、インターネットからネットワークカメラにアクセスします。

固定 IP を使用したインターネット接続

ネットワークカメラに固定 IP を使用することが要求されている場合は、この接続を選んでください。

PPPoE(ポイントツーポイント・オーバー・イーサネット)を介したインターネット接続

DSL ラインを経由してインターネットに接続している場合は、この接続方法を選んでください。

例えば、ルーターと IP の設定は以下のようになります：

デバイス	IP アドレス：内部ポート	IP アドレス：外部ポート(ルーターのマップされたポート)
ルーターのパブリック IP	122.146.57.120	
ルーターの LAN IP	192.168.2.1	
カメラ 1	192.168.2.10:80	122.146.57.120:8000
カメラ 2	192.168.2.11:80	122.146.57.120:8001
...	...	...

構成済みのポート番号から入力される全てのデータをルーターがプライベートネットワーク上のネットワークカメラへ転送できるように、ルーター、バーチャルサーバー、ファイアウォールを構成し、同一のパスにてカメラからのデータがネットワークの外部へ転送されるようにします。

送信元	ここへ転送
122.146.57.120:8000	192.168.2.10:80
122.146.57.120:8001	192.168.2.11:80
...	...

正しく構成すれば、ルーターのローカル側にあるカメラは次のように HTTP リクエストを行います：<http://122.146.57.120:8000>

ネットワークの設定でポート番号を変更している場合は、ルーターにて該当するポートを開いてください。例えば、お使いのローカルネットワーク内部でルーターを通じたカメラへのアクセスを構成するために、ルーター内で管理セッションを開くことができます。構成に問題が存在する場合は、ネットワーク管理者にルーター構成を問い合わせてください。

ネットワーク構成オプション(ストリームポートなど)の詳細情報は、**Configuration(構成) > Network Settings(ネットワーク設定)**を参照してください。VIVOTEKのカメラはまた、NAT トランスバーサル機能として自動ポート転送機能も備えています。ただし、ルーターが UPnP ポート転送機能に対応していることが条件となります。

The screenshot shows the VIVOTEK web interface with the following details:

- Header:** VIVOTEK logo, navigation links: ホーム, クライアント設定, 構成, 言語.
- Left Sidebar:** システム, メディア, ネットワーク (selected), セキュリティ, camera_control, event, application, recording, storage.
- Main Content Area:**
 - ネットワーク > 一般設定
 - ネットワークタイプ
 - ☒ LAN
 - ☒ 自動的にIPアドレスを取得
 - ☐ 固定IPアドレスを使用
 - ☒ UPnP プレゼンテーションを有効にする
 - ☒ UPnPポート転送を有効にする
 - ☐ PPPoE
 - ☐ 有効 IPv6

A warning box is displayed at the bottom of the LAN settings section:

機器の構成をしています。ブラウザのアクセス先は以下に変更されます <http://192.168.5.120:80/>。接続できない場合は、手動でブラウザのURLフィールドにIPアドレスを入力してサーバーに接続する必要があります。

A **保存** (Save) button is located to the right of the warning box.

⚠ 重要:

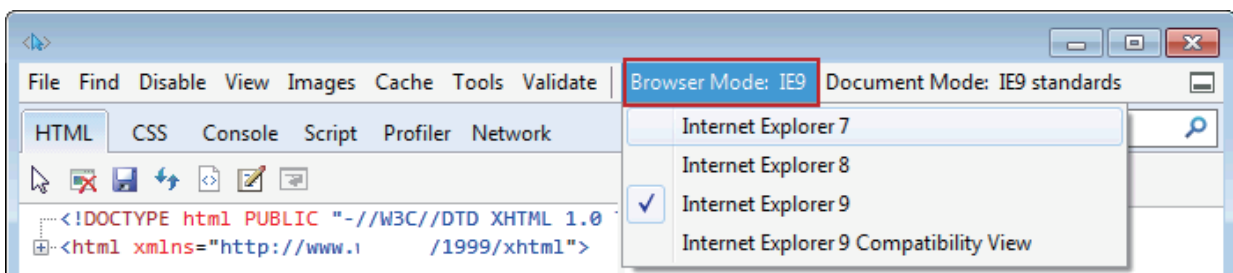
- 現時点では、ネットワークカメラは **32 ビット ActiveX** プラグインを活用していません。**64 ビット**の IE ブラウザを使用して、カメラの管理/ビューセッションを開くことはできません。
- 問題が発生した場合は、**C:\Windows\SysWOW64** の **ieexplore.exe** プログラムを実行してみてください。**32 ビット版**の IE ブラウザがインストールされます。
- Windows 7 では、**32 ビット版**の IE ブラウザはここからアクセスできます：
C:\Program Files (x86)\Internet Explorer\ieexplore.exe
- Shepherd ユーティリティからウェブセッションを開いた場合、**32 ビット IE** ブラウザが開きます。

💡 ヒント:

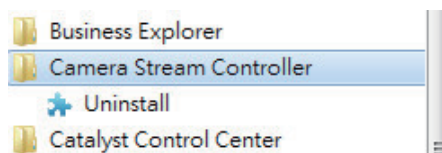
1. 画面の **Java** 制御機能は以下の状態で動作不良を起こすことがあります：**PC** が同一の IP アドレスを使用する複数のカメラに接続する場合(または同一のカメラが異なるファームウェアバージョンで実行された場合)。ブラウザのクッキーを削除するとこの問題を解決できます。
2. 構成メニューや UI 項目を表示する際に問題が発生した場合は、**IE8** または **IE9** の互換表示機能を使用してください。



また、**F12** キーを押してデベロッパー用ツールのユーティリティを開き、続いて **Browser Mode**(ブラウザモード)を通常の **IE8** または **IE9** モードへ切り替えることもできます。



- プラグインの互換性に関する問題が発生した場合は、以前にインストールしたプラグインをアンインストールしてみてください。



VIVOTEK 録画ソフトウェアの使用

VIVOTEK の WEB サイトから録画ソフトをダウンロードして使用することができます。複数のネットワークカメラを同時に監視して映像を録画できます。録画ソフトウェアをインストールしてプログラムを開き、ネットワークカメラをチャンネル一覧へ追加します。録画ソフトウェアの詳細な使用方法是、WEB にあるユーザーマニュアルを参照してください。VIVOTEK の WEB サイトへ移動し、Product (プロダクト) > Software (ソフトウェア) > VMS からダウンロードしてください。



ヒント:

1. ライブビューの表示やスクリーン上のプラグイン制御に問題が発生した場合は、コンピューターへインストールしたプラグインをアンインストールしてみてください。以下のフォルダーを削除します：C:\Program Files (x86)\Camera Stream Controller\。
2. カメラのルート(管理者)パスワードを忘れてしまった場合は、リセットボタンを 5 秒間以上押し続けると、カメラを出荷状態へ復元できます。
3. ネットワークで DHCP が有効になっており、カメラへアクセスできない場合、Shepherd ユーティリティを実行してネットワークを検索してください。カメラがお使いのローカルネットワークで IP アドレスが自動設定されない場合、デフォルト IP は 169.254.x.x. が設定されます。それでもカメラが見つからない場合、カメラを出荷状態へ復元してください。
4. LAN カードへの接続を追加するなど、ネットワークパラメーターを変更した場合、Shepherd ユーティリティを再起動してください。

メインページ

本章はメインページのレイアウトを説明します。以下のセクションで構成されています：
VIVOTEK INC.ロゴ、ホスト名、カメラのコントロールパネル、サイズ調整ボタン、構成エリア、メニュー、ライブビデオウィンドウです。



VIVOTEK INC.ロゴ

このロゴをクリックすると VIVOTEK のウェブサイトへ移動します。

ホスト名

ホスト名は設定によって変更できます。特に、監視環境にて多くのカメラが存在する場合に名前を変更できます。

カメラのコントロールパネル

ビデオストリーム：本ネットワークカメラは複数のストリーム(ストリーム 1,2,3)を同時に配信できます。ライブ表示用にいずれかを選択できます。

手動トリガー：クリックするとイベントのトリガーを手動で有効/無効にできます。この機能を有効にする前に、イベント設定を構成してください。合計 3 つのイベントを設定できます。このアイテムをホームページから隠す場合は、**Configuration(構成) > System(システム) > Homepage Layout(ホームページのレイアウト) > General settings(一般設定) > Customized button(カスタマイズボタン)**へ移動し、「show manual trigger button(マニュアルトリガーボタンを表示)」チェックボックスからチェックを外してください。

構成エリア

クライアント設定：このボタンをクリックするとクライアント設定ページへアクセスできます。

構成：このボタンをクリックするとネットワークカメラの設定ページへアクセスできます。管理者のみがネットワークカメラを構成できるよう、ネットワークカメラにパスワードをかけることが推奨されます。

言語：このボタンをクリックしてユーザーインターフェースの言語を選択します。以下の言語が選択できます：English、Deutsch、Español、Français、Italiano、日本語、Português、簡体中文、繁體中文です。

非表示ボタン

非表示ボタンを使用して、コントロールパネルの表示をオンまたはオフにできます。

サイズ調整ボタン



Auto(自動)ボタンをクリックすると、ビデオ画面はモニターのサイズに合わせるよう自動的に調整されます。

100% をクリックするとオリジナルの画面サイズを表示します。

50% をクリックすると画面サイズをオリジナルの 50% のサイズへ調整します。

25% をクリックすると画面サイズをオリジナルの 25% のサイズへ調整します。

ライブビデオウィンドウ

■ 以下のウィンドウはビデオモードを H.264 または H.265 へ設定した際に表示されます：

H.264 または H.265 プロトコルとメディアオプション



ビデオのタイトル：ビデオのタイトルは変更できます。詳細は、43 ページのメディア > 画像を参照してください。

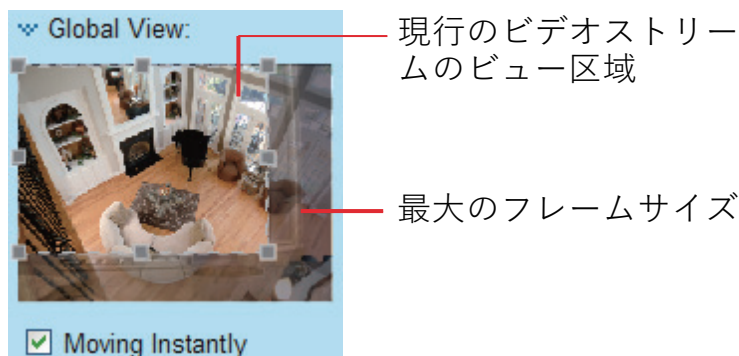
H.264 または H.265 プロトコルとメディアオプション：H.264 または H.265 ビデオストリームの転送プロトコルとメディアオプションを表示します。

時刻：現在の時刻を表示します。詳細な構成は、43 ページのメディア > 画像 > 一般設定を参照してください。

タイトルと時間：ビデオのタイトルと時間をストリーミングビデオへ重畳できます。詳細な構成は、43 ページのメディア > 画像 > 一般設定を参照してください。

PTZ パネル：このネットワークカメラは「デジタル」パン/チルト/ズーム制御 (**e-PTZ**) に対応しており、ズームインしたビデオ映像に対しパン/チルトさせることができます。

グローバルビュー：このアイテムをクリックするとグローバルビューウィンドウが開きます。グローバルビューウィンドウは全画面(オリジナルのフレームサイズ)に対しフローティングフレーム(現在の表示画面)を重ねて表示します。フローティングフレームを直接操作して、ユーザーは **e-PTZ** の操作(パン/チルト/ズーム)をすることができます。

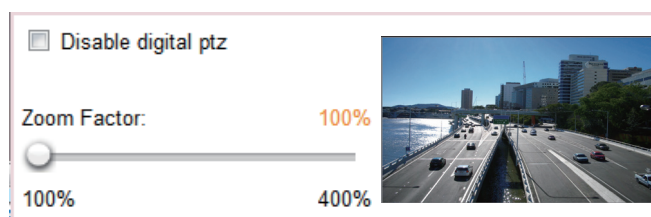


e-PTZ はズームインした映像に限り動作することにご注意ください。ライブビデオウィンドウに全画面が表示されている場合、**PTZ** ボタンは機能しません。

ビデオ制御ボタン：ネットワークカメラの種類と設定内容によっては、一部のボタンは機能しません。

 スナップショット：このボタンをクリックするとスナップショットを取得して保存します。取得した画像はポップアップウィンドウに表示されます。画像を右クリックし、**Save Picture As(名前を付けて画像を保存)**を選択して JPEG(*.jpg)または BMP(*.bmp)形式で保存します。

 デジタルズーム：「Disable digital zoom(デジタルズームを無効にする)」をクリックしてチェックを外すと、ズームが有効になります。ナビゲーション画面は画像の拡大された箇所を示します。スライダーバーをドラッグしてズームレベルを調整します。ナビゲーション画面を直接ドラッグすれば位置を変えることができます。



 一時停止：メディアのストリーミングを一時停止します。一時停止ボタンをクリックすると、ボタンは  再開ボタンへ変化します。

 停止：ライブビデオウィンドウでのストリーミング表示を停止します。  再開ボタンをクリックするとストリーミングが再開されます。

 MP4 録画を開始：このボタンをクリックすると、ビデオクリップを MP4 形式で録画してコンピューターへ保存します。  MP4 録画を停止ボタンをクリックすると録画が停止します。ウェブブラウザを終了すると、ビデオ録画も同時に停止します。

 ボリューム：  ミュート機能が無効の場合、スライダーバーを動かして手元のコンピューターのボリュームを調整できます。

 ミュート：手元のコンピューターのボリュームをオフにします。ミュートボタンをクリックすると、ボタンは  オーディオのオンボタンへ変化します。

 会話：このボタンをクリックするとネットワークカメラの周囲にいる方々と会話できます。音声はネットワークカメラに接続された外部スピーカーから発せられます。このボタン  を再度クリックすると、会話が終了します。

 マイク音量：  ミュートが無効の場合、スライダーバーを動かして手元のコンピューターのマイクボリュームを調整できます。

 ミュート：手元のコンピューターの  マイクの音量をオフにします。ミュートボタンをクリックすると、ボタンは  マイクオンボタンへ変化します。

ノート：

- メガピクセルカメラにおいては、24 インチ以上で、1600x1200 以上の解像度に対応したモニターが推奨されます。
- 以下に**Audio(オーディオ)**のデフォルト設定を示します。
 マイク内蔵のカメラ：**ミュートされていません。**
 マイクが内蔵されていないカメラ：**ミュートされています。**

外部マイク端子から音声を入力する場合は、メディア > オーディオにて外部入力を有効にする必要があります。



フルスクリーン：このボタンをクリックするとフルスクリーンモードへ切り替わります。「Esc」キーを押すとノーマルモードへ戻ります。

■ ビデオモードを MJPEG に設定すると以下のウィンドウが表示されます：



ビデオのタイトル：ビデオのタイトルは変更できます。詳細は、43 ページのメディア > 画像を参照してください。

時刻：現在の時刻を表示します。詳細は、43 ページのメディア > 画像を参照してください。

タイトルと時間：ビデオのタイトルと時間をストリーミングビデオへ重畳できます。詳細は、43 ページのメディア > 画像を参照してください。

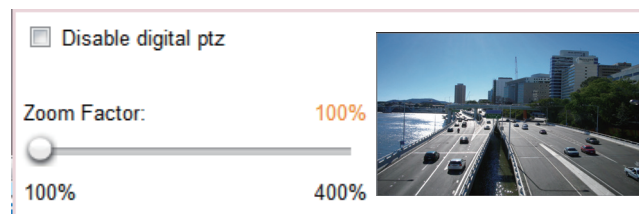
ビデオ制御ボタン：ネットワークカメラの種類と設定内容によっては、一部のボタンは機能しません。



スナップショット：このボタンをクリックするとスナップショットを取得して保存します。取得した画像はポップアップウィンドウに表示されます。画像を右クリックし、**Save Picture As**(名前を付けて画像を保存)を選択して JPEG(*.jpg)または BMP(*.bmp)形式で保存します。



デジタルズーム：「Disable digital zoom(デジタルズームを無効にする)」をクリックしてチェックを外すと、ズームが有効になります。ナビゲーション画面は画像の拡大された箇所を示します。スライダーバーをドラッグしてズームレベルを調整します。ナビゲーション画面を直接ドラッグすれば位置を変えることができます。



MP4 録画を開始：このボタンをクリックすると、ビデオクリップを MP4 形式で録画してコンピューターへ保存します。**MP4 録画を停止**ボタンをクリックすると録画が停止します。ウェブブラウザを終了すると、ビデオ録画も同時に停止します。



フルスクリーン：このボタンをクリックするとフルスクリーンモードへ切り替わります。「Esc」キーを押すとノーマルモードへ戻ります。

メディア > 画像

本セクションはネットワークカメラの画像設定について説明します。以下のタブウィンドウで構成されています：一般設定、IRコントロール、画像設定、露出、フォーカス、プライバシーマスクです。フォーカスウィンドウはリモートフォーカスレンズを備えるモデルのみで使用できます。

一般設定

一般設定 IRコントロール 画像設定 露出 プライバシーマスク

— ビデオの設定 —

ビデオタイトル

☐ ビデオとスナップショットにタイムスタンプとビデオタイトルを表示する。

イメージ上のタイムスタンプと動画タイトルの位置:

タイムスタンプと動画タイトルのフォントサイズ:

ビデオフォント (.ttf):

マウントタイプ: ☒ 天井 ☐ 壁 ☐ 床

カラー: ☐ 白黒 ☒ カラー

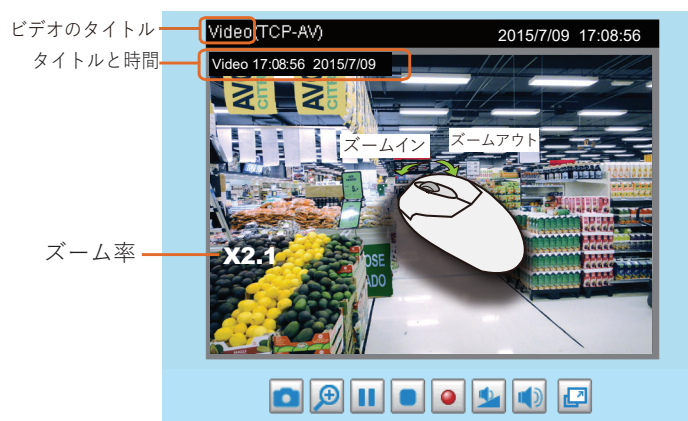
電力線周波数: ☐ 50 Hz ☒ 60 Hz

ビデオの位置: ☐ 反転 ☐ ミラー ☐ 回転

ビデオタイトル

ビデオとスナップショットにタイムスタンプとビデオのタイトルを表示：チェックするとライブビデオウィンドウとそのスナップショットに、ビデオタイトルと時刻の表示を重畳します。

以下のようにライブビデオウィンドウの映像がズームイン/ズームアウトすると、ライブビデオウィンドウ上にズーム率インジケータが表示されます。ライブビデオウィンドウ内でマウスのホイールをスクロールすると画像をズームイン/ズームアウトできます。最大ズーム率は 12 倍です。



イメージ上のタイムスタンプとタイトルの位置：ビデオストリームに表示するタイムスタンプとタイトルの位置を上または下から選択します。

タイムスタンプとタイトルのフォントサイズ：タイムスタンプとタイトルのフォントサイズを選択します。

ビデオフォント(.ttf)：ビデオに重畳するテキストにトゥルータイプのフォントをアップロードできます。

電力線周波数：蛍光灯が原因の画像フリッカを除去するために、電源の周波数設定を公共電力の周波数と一致させます。この設定を変更した後、新たな設定を有効にするためにネットワークカメラの電源コードを外して、再度接続しなければならない点にご注意ください。

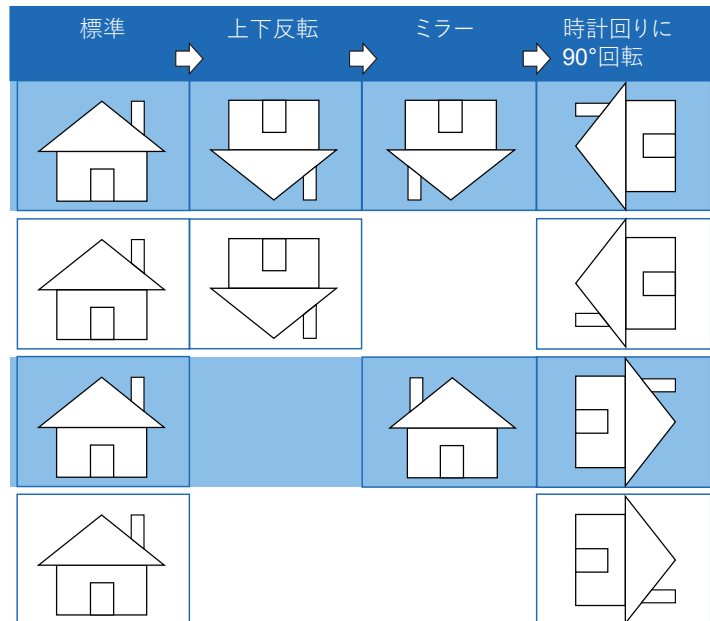
ビデオの位置：フリップ・ライブビデオの表示を上下に反転させます。ミラー・ライブビデオの表示を左右に反転させます。壁面設置においてカメラが上下逆に設置されている場合、画像の方向を修正するために両方のオプションを有効にしてください。上下反転・ミラーオプションを選択すると、それ以前に設定されたプリセット位置は消去されることにご注意ください。

回転 -

☒ Rotate 90 Degrees

回転は時計回りに行われます。回転とフリップやミラー、レンズの物理的な回転(以下をご覧ください)を組合せて、様々な取付位置に合わせることができます。

イラスト内の図形は変化の順に表示されています。



カメラは建物の内装や外装に合わせて、垂直面、側面、傾斜面にインストールされる可能性があります。建物の内装には、廊下など狭い長方形の空間である場合があります。**16:9** のアスペクト比である **HD** 画像は、横長であるために、縦長の空間を撮影するとせっかくの解像度を生かしきれません。映像を回転させることで、カメラはインストールする環境に応じて最適な映像を撮影することができます。

昼間/夜間設定

— 昼間/夜間設定 —

☒ 夜景モードのB/Wに切り替え

IRカットフィルタ:

自動モード

照度センサ 感度:

標準

夜間モードで B/W に切り替え

この機能を選択するとネットワークカメラは夜間モード時に自動的に白黒へ切り替わります。

IR カットフィルタ

リムーバブル IR カットフィルタを搭載する本ネットワークカメラは、暗い環境にてフィルターを自動的に取り外し、近赤外線領域の光も白黒映像としてセンサーへ取り込めます。

- オートモード(オートモードを選択すると、露出設定の中のプロファイルモードは利用できません)

ネットワークカメラは周囲光のレベルを判定して、IR カットフィルタを自動的にオン/オフします。

- 昼間モード

昼間モードでは、ネットワークカメラは IR カットフィルタを常にオンにして近赤外線領域の光がセンサーへ取り込まれないようにし、変色を防ぎます。

- 夜間モード

夜間モードでは、ネットワークカメラは IR カットフィルタを常にオフにして、近赤外線領域の光もセンサーへ取り込まれるようにし、暗い環境での感度を改善します。

- デジタル入力と同期

センサーを内蔵する外付け IR ライトなど、外部デバイスのライトセンサーを通じて夜間モードをトリガーできます。トリガー信号線をカメラの DI ピンへ接続すればこの機能が有効になります。

- スケジュールモード

ネットワークカメラは指定されたスケジュールに基づき、昼間モードと夜間モードを切り替えます。昼間モードの開始時刻と終了時刻を入力します。時刻形式は [hh:mm] であり、24 時間で表示されます。デフォルトでは、昼間モードの開始時刻と終了時刻は 07:00 と 18:00 に設定されています。

照度センサー感度

AUTOモードで周辺の明るさを自動判定するときの感度を低、標準、高に調整できます。

このページの設定を完了したら、**Save(保存)**をクリックして設定を有効にしてください。

IRコントロール

夜間モードで内蔵 IR 照明をオン

これを選択するとカメラが夜間モードに切り換わった際に、内蔵された IR 照明装置がオンになります。

夜間モードで外部 IR 照明をオン

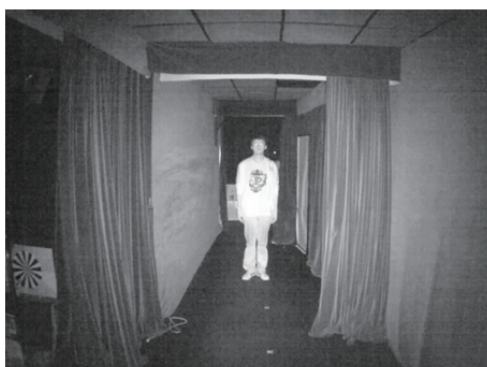
これを選択するとカメラが夜間モードに切り換わった際に、外付けの IR 照明装置がオンになります。外部 IR 照明装置とデジタル出力を接続する必要があります。

スマート IR

抗露出過多：有効にすると、カメラは夜間モードで露出過多を防ぐために、内蔵された IR 照明装置の出力を自動的に調整します。

スマート IR 機能は、監視対象がカメラと近い距離にある場合に、より効果を発揮します。例えば、対象者が 3 メートル以内の範囲に近づく可能性がある場合、スマート IR は露出過多を効果的に減らせます。5 メートルやそれ以上など、対象者までの距離が長い場合、スマート IR 機能は近い距離にいる場合ほどのメリットをもたらしません。

スマート IR 無効、距離：5M



スマート IR 有効、距離：5M



スマート IR 無効、距離：3M



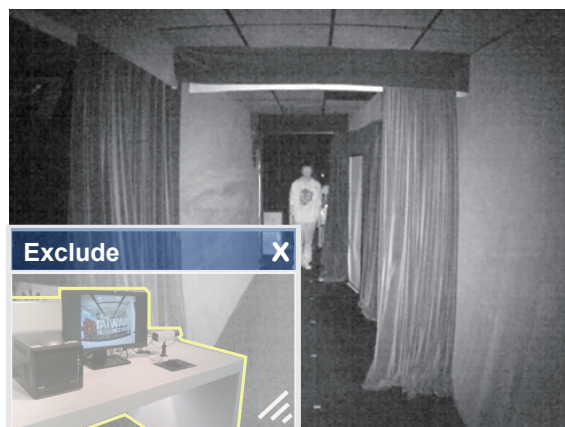
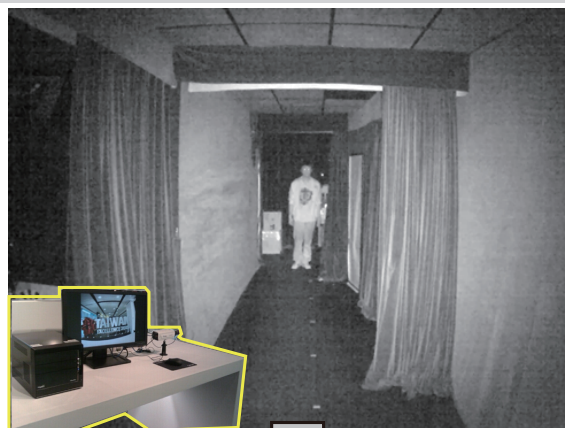
スマート IR 有効、距離：3M



💡 ヒント:

物体が近接する場合、そこから反射された赤外線はスマート IR の光量計算を狂わせる場合があります。この問題を解決する場合は、露出設定において不可避の物体に対し「除外」ウィンドウを設定してください。詳細は 50 ページを参照してください。

夜間モードの「プロファイル」設定にて「除外」ウィンドウを設定して、昼間モードの設定が影響を受けないようにすることも可能です。

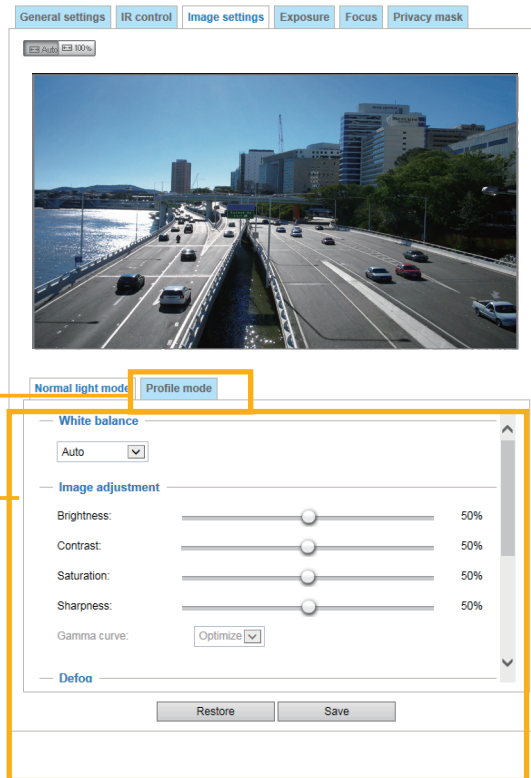


画像設定

このページでは、ホワイトバランスと画像調整を設定できます。

特別な条件での設定画面

通常の設定画面



ホワイトバランス：色温度を最適に調整します。

■ 自動：光源の変化に対応し、カメラの色温度を自動的に調整します。

■ 現在の値を固定

特定のホワイトバランス状態を固定させるとき、下記の手順で設定します。

1. ホワイトバランスを **Auto (自動)** に設定します。
2. 白色の紙を用意し、レンズの前に配置して、ネットワークカメラが自動的に色温度を調整できるようにします。
3. カメラがホワイトバランスを自動的に測定して調整した後、**Fix current value (現在の値を固定)** を選択し、設定を確定します。

■ マニュアル：RGain と BGain のスライダーを動かし、色温度を手動で調整することもできます。

画像調整

■ 明るさ：画像の明るさを 0%～100% の範囲で調整します。

■ コントラスト：画像のコントラストレベルを 0%～100% の範囲で調整します。

■ サチュレーション：画像の彩度を 0%～100% の範囲で調整します。

■ シャープネス：画像のシャープネスを 0%～100% の範囲で調整します。

■ ガンマ曲線：画像のガンマ曲線を 0.45～1 の範囲で調整します。通常は **Optimize (最適化)** を選択します。**Manual (手動)** モードを選択してスライダーのポインターを動かして、画像の暗い箇所と明るい箇所の両方に対し、ガンマ補正を行って高コントラストを選ぶか、詳細を際立たせるために高輝度を選ぶことができます。

このオプションは WDR 機能が有効の際は無効となります。

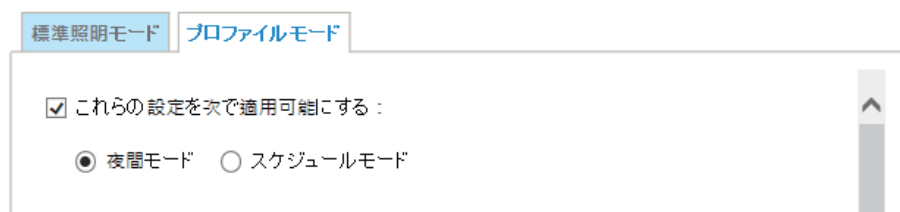
曇り除去：この機能を ON にすると、煙、霧、排ガスといった悪天候の条件で撮影された画像の鮮明度を改善させることができます。

ノイズリダクション

■ **3D ノイズリダクション**機能が搭載されています。ポインターを動かして、効果を調整することができます。

3D ノイズリダクションは、暗い環境でのノイズの抑制に効果があります。しかし動く被写体を撮影する場合に残像が発生する場合があります。このような場合は強度を下げて使用してください。

Restore (元に戻す)をクリックすると、変更内容を確定せず、以前の設定内容を呼び出せます。このページの設定を完了したら、**Save (保存)**をクリックして設定を有効にしてください。**Profile mode (プロファイルモード)**をクリックすれば、スケジュールモードなど特別な使用環境における設定内容をタブ内のウィンドウにて設定できます。



これらの設定を次で適用可能にする：このプロファイルを適用するモードを選択します：**Night mode(夜間モード)**、**Schedule mode(スケジュールモード)**。スケジュールモードを選択した場合は、時刻の範囲を手動で入力してください。続いて**Save(保存)**をチェックすると有効になります。

デジタル手ブレ補正を有効にする

カメラをポールに取り付けたときなど、振動により映像が安定しないことがあります。このような場合はこの機能を有効にしてください。

露出

このページでは、露出計測ウィンドウ、露出レベル、露出モード、露出時間、ゲイン調節、WDR設定を調整できます。また、2種類の露出設定を構成できます。一つは通常状態にて、もう一つはスケジュールモードなどの特別な状態にて使用できます。



計測ウィンドウ：この機能を使用して、露出を計測するための計測ウィンドウを設定すれば、被写体の背景に非常に明るい光がある場合などに効果があります。例えば、ビルの廊下を通じて入り込む明るい日光の影響を除去できます。

- 全画面：画面全体に対して、適切な明るさとなるよう、露出を調整します。
- カスタム：このオプションを使用して、カスタマイズされたウィンドウを包含領域または除外領域として追加できます。合計 10 のウィンドウを構成できます。詳細は次のページを参照してください。

包含ウィンドウは「加重領域」として設定されます。除外ウィンドウは「除外領域」として設定されます。加重平均手法を用いて値を算出します。包含ウィンドウは優先度がより高く設定されます。これらのウィンドウは重複させることができます。除外ウィンドウをより大きな包含ウィンドウの中に配置すると、重複したウィンドウのうち除外領域は包含ウィンドウから除外されます。包含ウィンドウの残りの部分について、露出度が算出されます。



- **BLC**(バックライト補正)：この機能は画面中央に「加重領域」を自動的に設定し、最適な露出となるよう調整します。
- **HLC**：(ハイライト補正)：この機能は強い光源を検出し、それによる影響を補正して全体の画質を改善します。例えば、HLC はスポットライトやヘッドライトによるにじみを減少させます。

露光コントロール：

- **露光レベル**：露光レベルを手動で -2.0~+2.0 (暗い~明るい)の範囲で設定できます (WDR Pro が無効のとき。WDR Pro が有効の時は -0.7~+0.7 の範囲で調整可能)。
- **Exposure time (露出時間)**の半円ポインターと**Gain control (ゲイン調節)**の半円ポインターをクリックしてドラッグし、最適な画像を得られるようカメラが自動的に調整する際のシャッター時間とゲインの範囲を指定できます。動いている物体を捕捉する場合はシャッター時間を短くすることが推奨されます。しかしシャッター時間が短いと光量が減ってしまうため、ゲインを調整して補正する必要があります。
- **フリッカー補正**：
映像の周波数と AC 電源周波数の間に差異が生じる場合、不一致により色がシフトしたり画像がフリッカを起こします。上記の不一致が起こる場合、**Flickerless (フリッカー補正)**のチェックボックスをチェックしてください。露出時間 (シャッター速度)の範囲が、AC 電源周波数に合わせて制限されます。電源周波数が60Hzに設定されている場合にこの機能を選択すると、露出時間は 1/120 秒以上に強制されます。固定アイリスレンズが付属するカメラの場合、露出時間を 1/120 秒より長く設定すると、レンズに過度の光量が入力される可能性があります

■ AE 速度調整：

この機能は、照明条件が素早く変化する場所を監視する必要がある場合に適用されます。例えば、夜間の駐車場の入り口を監視する場合、自動車がライトをオンにして通過すると、照明レベルが素早く変化します。またカメラが車内に搭載されていれば、トンネルへ侵入したときや、トンネルを出るときに光量が素早く変化することがあります。このような場合、最適な映像が得られるよう調整してください。

■ WDR Pro：

このカメラは強い逆光状態でも白飛びせず詳細を捉えることのできるワイドダイナミックレンジ機能を有しています。監視する箇所の逆光状態に応じて、チェックボックスを使用してこの機能を有効にしてください。

WDR 強化を有効化：この機能を使用すれば、明るい背景と被写体とのコントラストが高い場合に、暗い部分の明るさを調整し画像をより鮮明にとらえることができますようになります。**Enable WDR enhanced (WDR 強化を有効化)**のチェックボックスをチェックし、強度(低、中、高)を調整して画質を最適に設定してください。

Restore (復元)をクリックすると、変更内容を確定せずに、以前の設定内容呼び出せます。このページの設定を完了したら、**Save (保存)**をクリックして設定を有効にしてください。

夜間モード/スケジュールモードの設定用に特別な内容を設定する場合は、**Profile (プロファイル)**をクリックして、以下の要領で露出設定ページのプロファイルを設定してください。

これらの設定を次で適用可能にする：このプロファイルを適用するモードを選択します：**Night mode(夜間モード)**、**Schedule mode (スケジュールモード)**。スケジュールモードを選択した場合は、時刻の範囲を手動で入力してください。続いて**Save (保存)**をチェックすると有効になります。

以下のステップに従い、プロファイルを設定してください：

1. **Profile mode(プロファイルモード)**のタブを選択します。
2. 適用可能なモードを選びます：ナイトモードまたはスケジュールモードです。スケジュールモードを選択した場合は、時刻の範囲を手動で入力してください。
3. 以下にて露出制御の設定を行います。詳細は上記を参照してください。
4. **Save(保存)**をクリックして設定を有効にします。

The screenshot displays the 'Profile mode' settings page. At the top, there are tabs for '一般設定', '画像設定', '露出', 'フォーカス', and 'プライバシーマスク'. The '露出' (Exposure) tab is selected. Below the tabs, there is a live video feed showing a bridge over water with cars. Under the video feed, the '標準露出モード' (Standard Exposure Mode) is selected, and the 'プロファイルモード' (Profile Mode) tab is active. A checkbox labeled 'これらの設定を次で適用可能にする' (Apply these settings next time) is checked. The 'Exposure strategy' section shows '計測ウインドウ' (Measurement Window) set to '全画面' (Full Screen). The '露光コントロール' (Exposure Control) section has '露光レベル' (Exposure Level) set to 0, '露出モード' (Exposure Mode) set to '自動' (Auto), and 'アイリスモード' (Iris Mode) set to '電外' (Off). The 'AF 速度調整' (AF Speed Adjustment) section is partially visible at the bottom. At the very bottom, there are buttons for '元に戻す' (Reset) and '保存' (Save).

フォーカス(FD9167-HT、FD9367-HTV、FD9367-EHTV にて利用可能)

これらのカメラには **Remote Focus (リモートフォーカス)**機能が搭載されており、このページの操作によってレンズのズーム位置とフォーカス位置を調整することが可能です。オートフォーカス調整機能により、レンズの最適なフォーカス調整をカメラが自動で行うこともできます。この機能により、カメラ設置にかかる時間を大幅に削減することができます。



以下に、オートフォーカス調整の使い方を説明します。

1. フォーカス調整を**Full view(全画面)**で行うか、**Custom(カスタム)**のフォーカスウィンドウ内で行うかを選択します。カスタムウィンドウを作成して、画面内の特定の位置を設定できます。
2. **Fully-opened iris(絞り開放)**この機能を選択(デフォルト)すると、レンズの絞りが解放状態となりレンズの被写界深度が浅くなりますので、より精度よくフォーカスを合わせることが可能になります。
3. **Full-range scan(フルレンジスキャン)**この機能を選択すると、カメラの焦点距離全体にわたってフルレンジのスキャンを行いますので、全体で**30~80秒**必要です。この機能を選択しなければ、あらかじめ予測された範囲のみでスキャンを行いますので、**15~20秒**で完了します。

4. オートフォーカスを実行ボタンを押して、スキャンが完了するまで待ちます。その後最適なフォーカス距離が得られ、最も鮮明な状態の画像が表示されます。最適なフォーカス位置と判断できない場合は、左右の矢印マークを使用してフォーカスを微調整してください。映像によってはオートフォーカスが最適なポイントを見つけにくいことがあり、矢印マークを使用してフォーカスをさらに調整しなければならない場合もあります。

ビデオウィンドウの左上にあるサイズ調整ボタンを使用して、**100%**（オリジナル）のサイズとすれば、対象となる場所のフォーカスが最適な状態かを確認しやすくなります。

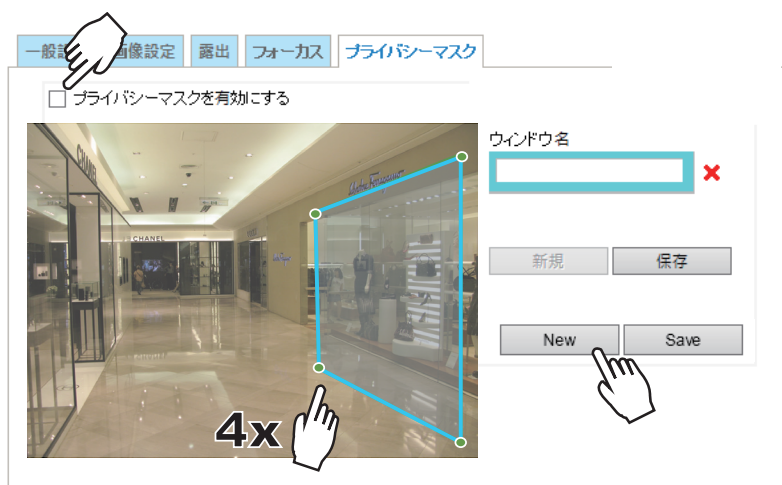
フォーカスウィンドウ：

通常は全画面ウィンドウに設定しますが、指定した場所にカスタムウィンドウを設定し、そこに最適なフォーカスが合うように設定することもできます。ただし、遠い距離にある背景へフォーカスウィンドウを配置しても、フォーカスウィンドウ機能の効果が得られません。

- **全画面**：フォーカス調整は全画面を対象にして調整が行われます。
- **カスタム**：フォーカスウィンドウを作成して、特定の場所へドラッグできます。この機能はフォーカスを合わせたい対象が単一の色やテクスチャである場合などに使用します。

プライバシーマスク

Privacy Mask(プライバシーマスク)をクリックすると設定ページが開きます。プライバシーを守るために映像をマスキングする範囲を設定することができます。



■ プライバシーマスクのウィンドウを設定する方法は以下の通りです。

1. **New (新規)** をクリックして新たなウィンドウを追加します。
2. マウスを **4** 回クリックして四角形の範囲を設定します。ブロックする対象物のサイズ (高さ & 幅) の少なくとも **2 倍** の範囲を設定することが推奨されます。
3. **Save (保存)** をクリックしてこのウィンドウ設定を有効にします。複数のウィンドウを設定する場合はこれらのステップを繰り返します。
4. **Enable privacy mask (プライバシーマスクを有効にする)** のチェックボックスをクリックし、この機能を有効にします。



ノート:

- ▶ 画面内に最大 **5** つのプライバシーマスクウィンドウを設定できます。
- ▶ プライバシーマスクウィンドウを削除する場合は、ウィンドウ名横の「x」マークをクリックして **Save (保存)** ボタンをクリックします。

技術仕様

型番	FD9167-HT
システム情報	
CPU	Multimedia SoC（システムオンチップ）
フラッシュ	128MB
RAM	512MB
カメラの特徴	
撮像素子	1/2.8" プログレッシブ CMOS
最大解像度	1920x1080
レンズタイプ	バリフォーカル、リモートフォーカス
焦点距離	f = 2.8~12 mm
絞り値	F1.4~2.8
オートアイリス	P アイリス
視野角	33°~97°（水平） 19°~53°（垂直） 38°~114°（対角）
シャッター速度	1/5 秒~1/32,000 秒
WDR テクノロジー	WDR Pro
デナイト機能	リムーバブル IR カットフィルタによるデナイト機能
最低被写体照度	0.07 ルクス @ F1.4（カラー） 0.001 ルクス @ F1.4（B/W） 0 ルクス（赤外線照射オン）
パン範囲	350°
チルト範囲	80°
回転範囲	180°
パン/チルト/ズーム機能	ePTZ：48 倍デジタルズーム （IE プラグイン 4 倍、内蔵 12 倍）
赤外線照射装置	内蔵赤外線照射装置、最大照射距離 30 メートル、スマート IR II、IR LED*4 搭載
オンボードストレージ	スロットタイプ：MicroSD/SDHC/SDXC カードスロット
ビデオ	
圧縮	H.265/H.264/MJPEG
最大フレームレート	30 fps @ 1920x1080
最大ストリーム数	同時 3 ストリーム
S/N 比	58 dB
ダイナミックレンジ	120 dB
ビデオストリーミング	解像度、画質、ビットレートを調整可能。スマートストリーム III

画像設定	タイムスタンプ、テキストオーバーレイ、上下反転・ミラー、明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、ホワイトバランス、露出コントロール、ゲイン、逆光補正、ブライバシーマスク、プロファイル設定、ビデオ回転、3DNR、DIS、HLC
オーディオ	
オーディオ機能	双方向オーディオ
圧縮	G.711、G.726
インターフェイス	内蔵マイク 外部マイク入力 外部ライン出力
有効範囲	5 メートル
ネットワーク	
ユーザー数	最大 10 クライアントによる同時閲覧
プロトコル	IPv4、IPv6、TCP/IP、HTTP、HTTPS、UPnP、RTSP/RTP/RTCP、IGMP、CIFS/SMB、SMTP、FTP、DHCP、NTP、DNS、DDNS、PPPoE、CoS、QoS、SNMP、802.1X、UDP、ICMP、ARP、SSL/TLS
インターフェイス	10 Base-T/100 Base-TX イーサネット (RJ-45) *3P/ETL 規格に準拠する標準の CAT5e および CAT6 ケーブルを使用すること。
ONVIF	対応済み。詳細は www.onvif.org を参照
インテリジェントビデオ	
ビデオ動体検知	最大 5 つのウィンドウが設定可能なビデオ動体検知
アラームおよびイベント	
アラームトリガー	動体検知、手動トリガー、デジタル入力、定期的なトリガー、システム起動、録画通知、タンパー検知、音声検知、MicroSD カード寿命予測
アラームイベント	デジタル出力、HTTP、SMTP、FTP、NAS サーバーと MicroSD カードへのイベント通知、および HTTP/SMTP/FTP/NAS サーバー/MicroSD カードへのファイルのアップロード
全般	
コネクタ	10/100 ネットワーク用 RJ-45 ケーブルコネクタ ネットワーク/PoE 接続 オーディオマイク入力 オーディオライン出力 DC 12V デジタル入力 x 1 デジタル出力 x 1
LED インジケータ	システム電源およびステータスインジケータ
電源入力	DC 12V IEEE 802.3af PoE クラス 0
消費電力	最大 10W
寸法	Ø 139 x 104 mm
重量	478 g
認証	CE、LVD、FCC クラス B、VCCI クラス B、C-Tick、UL

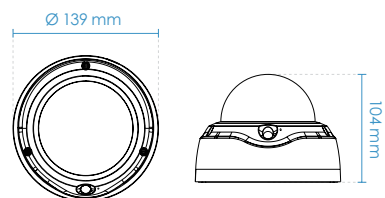
技術仕様

動作温度	起動時温度： 0°C～50°C (32°F～122°F) 稼動中温度： -10°C～50°C (14°F～122°F)
湿度	90%以下
保証期間	3 年
システム要件	
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 8/7
ウェブブラウザ	Mozilla Firefox 7～43 (ストリーミングのみ) Internet Explorer 10/11
その他プレイヤー	VLC : 1.1.11 またはそれ以上 Quicktime : 7 またはそれ以上

同梱付属品

クイックインストールガイド、保証書、ネジ、アンカー、レンチ、アライメントステッカー

寸法



互換付属品

取付キット



AM-21A
L 字形ブラケット



AM-514
アダプタプレート

技術仕様

型番	FD9167-H
システム情報	
CPU	Multimedia SoC（システムオンチップ）
フラッシュ	128MB
RAM	512MB
カメラの特徴	
撮像素子	1/2.8" プログレッシブ CMOS
最大解像度	1920x1080
レンズタイプ	固定フォーカス
焦点距離	f = 2.8 mm
絞り値	F1.6
オートアイリス	固定アイリス
視野角	109°（水平） 61°（垂直） 126°（対角）
シャッター速度	1/5 秒～1/32,000 秒
WDR テクノロジー	WDR Pro
デイナイト機能	リムーバブル IR カットフィルタによるデイナイト機能
最低被写体照度	0.07 ルクス @ F1.6（カラー） 0.001 ルクス @ F1.6（B/W） 0 ルクス（赤外線照射オン）
パン範囲	350°
チルト範囲	70°
回転範囲	180°
パン/チルト/ズーム機能	ePTZ: 48 倍デジタルズーム （IE プラグイン 4 倍、内蔵 12 倍）
赤外線照射装置	内蔵赤外線照射装置、最大照射距離 30 メートル、スマート IR、IR LED*2 搭載
オンボードストレージ	スロットタイプ：MicroSD/SDHC/SDXC カードスロット、シームレスな録画
ビデオ	
圧縮	H.265/H.264/MJPEG
最大フレームレート	30 fps @ 1920x1080
最大ストリーム数	同時 3 ストリーム
S/N 比	58 dB
ダイナミックレンジ	120 dB
ビデオストリーミング	解像度、画質、ビットレートが調整可能; スマートストリーム III

画像設定	タイムスタンプ、テキストオーバーレイ、上下反転・ミラー; 明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、ホワイトバランス、露出コントロール、ゲイン、逆光補正、プライバシーマスク; プロファイル設定、ビデオ回転、3DNR、DIS、HLC
オーディオ	
オーディオ機能	双方向オーディオ
圧縮	G.711、G.726
インターフェイス	内蔵マイク 外部マイク入力 外部ライン出力
有効範囲	5 メートル
ネットワーク	
ユーザー数	最大 10 クライアントによる同時閲覧
プロトコル	IPv4、IPv6、TCP/IP、HTTP、HTTPS、UPnP、RTSP/RTP/RTCP、IGMP、CIFS/SMB、SMTP、FTP、DHCP、NTP、DNS、DDNS、PPPoE、CoS、QoS、SNMP、802.1X、UDP、ICMP、ARP、SSL/TLS
インターフェイス	10 Base-T/100 Base-TX イーサネット (RJ-45) *3P/ETL 規格に準拠する標準の CAT5e および CAT6 ケーブルを使用すること。
ONVIF	対応済み。詳細は www.onvif.org を参照
インテリジェントビデオ	
ビデオ動体検知	最大 5 つのウィンドウが設定可能なビデオ動体検知
アラームおよびイベント	
アラームトリガー	動体検知、手動トリガー、デジタル入力、定期的なトリガー、システム起動、録画通知、タンパー検知、音声検知、MicroSD カード寿命予測
アラームイベント	デジタル出力、HTTP、SMTP、FTP、NAS サーバーと MicroSD カードを用いたイベント通知、および HTTP/SMTP/FTP/NAS サーバー/MicroSD カードを通じたファイルのアップロード
全般	
コネクタ	ネットワーク 10/100 Mbps PoE 接続用 RJ-45 ケーブルコネクタ オーディオマイク入力 オーディオライン出力 DC 12V デジタル入力 x 1 デジタル出力 x 1
LED インジケータ	システム電源およびステータスインジケータ
電源入力	DC 12V IEEE 802.3af PoE クラス 0
消費電力	最大 7 W
寸法	Ø 139 x 104 mm
重量	459 g

技術仕様

認証	CE、LVD、FCC クラス B、VCCI クラス B、C-Tick、UL
動作温度	起動時温度： 0° C～50° C (32° F～122° F) 稼動中温度： -10° C～50° C (14° F～122° F)
湿度	90%以下
保証期間	2 年
システム要件	
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 8/7
ウェブブラウザ	Mozilla Firefox 7～43 (ストリーミングのみ) Internet Explorer 10/11

互換付属品

取付キット



AM-21A

L 字形ブラケット



AM-514

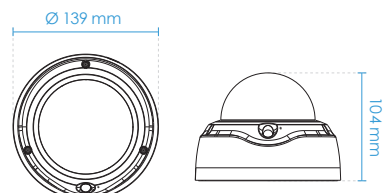
アダプタプレート

その他プレイヤー	VLC : 1.1.11 またはそれ以上 Quicktime : 7 またはそれ以上
----------	---

同梱付属品

その他	クイックインストールガイド、保証書、ネジ、アンカー、レンチ、アライメントステッカー
-----	---

寸法



技術仕様

型番	FD9367-HTV : パリアフォーカル、リモートフォーカス FD9367-EHTV : パリアフォーカル、リモートフォーカス、-50°C ～50°C
システム情報	
CPU	Multimedia SoC (システムオンチップ)
フラッシュ	128MB
RAM	512MB
カメラの特徴	
撮像素子	1/2.8" プログレッシブ CMOS
最大解像度	1920x1080
レンズタイプ	パリアフォーカル、リモートフォーカス
焦点距離	f = 2.8～12 mm
絞り値	F1.4～2.8
オートアイリス	P アイリス
視野角	33°～97° (水平) 19°～53° (垂直) 38°～114° (対角)
シャッター速度	1/5 秒～1/32,000 秒
WDR テクノロジー	WDR Pro
デイナイト機能	リムーバブル IR カットフィルタによるデイナイト機能
最低被写体照度	0.07 ルクス @ F1.4 (カラー) 0.001 ルクス @ F1.4 (B/W) 0 ルクス (赤外線照射オン)
パン範囲	350°
チルト範囲	80°
回転範囲	180°
パン/チルト/ズーム機能	ePTZ : 48 倍デジタルズーム (IE プラグイン 4 倍、内蔵 12 倍)
赤外線照射装置	内蔵赤外線照射装置、最大照射距離 30 メートル、スマート IR II、IR LED*4 搭載
オンボードストレージ	スロットタイプ: MicroSD/SDHC/SDXC カードスロット
ビデオ	
圧縮	H.265/H.264/MJPEG
最大フレームレート	30 fps @ 1920x1080
最大ストリーム数	同時 3 ストリーム
S/N 比	58 dB
ダイナミックレンジ	120 dB
ビデオストリーミング	解像度、画質、ビットレートを調整可能。スマートストリーム III
画像設定	タイムスタンプ、テキストオーバーレイ、上下反転・ミラー、明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、ホワイトバランス、露出コントロール、ゲイン、逆光補正、ブライバシーマスク、プロファイル設定、ビデオ回転、3DNR、DIS、HLC

オーディオ

オーディオ機能	双方向オーディオ
圧縮	G.711、G.726
インターフェイス	内蔵マイク 外部マイク入力 外部ライン出力
有効範囲	5 メートル
ネットワーク	
ユーザー数	最大 10 のクライアントによる同時閲覧
プロトコル	IPv4、IPv6、TCP/IP、HTTP、HTTPS、UPnP、RTSP/RTP/RTCP、IGMP、CIFS/SMB、SMTP、FTP、DHCP、NTP、DNS、DDNS、PPPoE、CoS、QoS、SNMP、802.1X、UDP、ICMP、ARP、SSL/TLS
インターフェイス	10 Base-T/100 Base-TX イーサネット (RJ-45) *3P/ETL 規格に準拠する標準の CAT5e および CAT6 ケーブルを使用すること。
ONVIF	対応済み。詳細は www.onvif.org を参照

インテリジェントビデオ

ビデオ動体検知	最大 5 つのウィンドウが設定可能なビデオ動体検知
---------	---------------------------

アラームおよびイベント

アラームトリガー	動体検知、手動トリガー、デジタル入力、定期的なトリガー、システム起動、録画通知、タンパー検知、音声検知、MicroSD カード寿命予測
アラームイベント	デジタル出力、HTTP、SMTP、FTP、NAS サーバーと MicroSD カードへのイベント通知、および HTTP/SMTP/FTP/NAS サーバー/MicroSD カードへのファイルのアップロード

全般

コネクタ	10/100 ネットワーク用 RJ-45 ケーブルコネクタ ネットワーク/PoE 接続 オーディオマイク入力 オーディオライン出力 DC 12V デジタル入力 x 1 デジタル出力 x 1
LED インジケータ	システム電源およびステータスインジケータ
電源入力	FD9367-HTV : DC 12V、IEEE 802.3af PoE クラス 0 FD9367-EHTV : DC 12V、IEEE 802.3at PoE クラス 4
消費電力	FD9367-HTV : 最大 10W FD9367-EHTV : 最大 25 W
寸法	Ø 155 x 104 mm
重量	873 g
ハウジング	IP66、IK10
認証	CE、LVD、FCC クラス A、VCCI クラス A、C-Tick、UL

技術仕様

動作温度	FD9367-HTV : 起動時温度 : -10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F) 稼動中温度 : -30°C ~ 50°C (-22°F ~ 122°F)
	FD9367-EHTV : 起動時温度 : -40°C ~ 50°C (-40°F ~ 122°F) 稼動中温度 : -50°C ~ 50°C (-58°F ~ 122°F)
湿度	90%以下
保証期間	3 年
システム要件	
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 8/7
ウェブブラウザ	Mozilla Firefox 7~43 (ストリーミングのみ) Internet Explorer 10/11

互換付属品

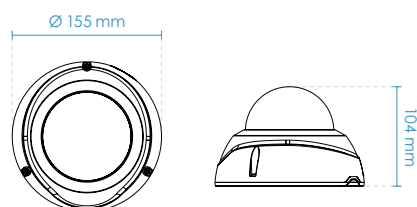
その他プレイヤー

VLC : 1.1.11 またはそれ以上
Quicktime : 7 またはそれ以上

同梱付属品

クイックインストールガイド、保証書、
ネジ、アンカー、レンチ、乾燥剤、防水用パ
ッキン、配線用ブラケット、アライメントス
テッカー

寸法



取付キット



AM-21A
L 字形ブラケット



AM-51C
アダプタプレート



AM-525
マウンティングアダプタ



AM-713 (v01)
屋外コンジットボックス

技術仕様

型番	FD9367-HV
システム情報	
CPU	Multimedia SoC (システムオンチップ)
フラッシュ	128MB
RAM	512MB
カメラの特徴	
撮像素子	1/2.8" プログレッシブ CMOS
最大解像度	1920x1080
レンズタイプ	固定フォーカス
焦点距離	f = 2.8 mm
絞り値	F1.6
オートアイリス	固定アイリス
視野角	109° (水平) 61° (垂直) 126° (対角)
シャッター速度	1/5 秒～1/32,000 秒
WDR テクノロジー	WDR Pro
デイナイト機能	リムーバブル IR カットフィルタによるデイナイト機能
最低被写体照度	0.07 ルクス @ F1.6 (カラー) 0.001 ルクス @ F1.6 (B/W) 0 ルクス (赤外線照射オン)
パン範囲	350°
チルト範囲	70°
回転範囲	180°
パン/チルト/ズーム機能	ePTZ: 48 倍デジタルズーム (IE プラグイン 4 倍、内蔵 12 倍)
赤外線照射装置	内蔵赤外線照射装置、最大照射距離 30 メートル、スマート IR、IR LED*2 搭載
オンボードストレージ	スロットタイプ: MicroSD/SDHC/SDXC カードスロット、シームレスな録画
ビデオ	
圧縮	H.265/H.264/MJPEG
最大フレームレート	30 fps @ 1920x1080
最大ストリーム数	同時 3 ストリーム
S/N 比	58 dB
ダイナミックレンジ	120 dB
ビデオストリーミング	解像度、画質、ビットレートが調整可能; スマートストリーム III
画像設定	タイムスタンプ、テキストオーバーレイ、上下反転・ミラー; 明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、ホワイトバランス、露出コントロール、ゲイン、逆光補正、プライバシーマスク; プロファイル設定、ビデオ回転、3DNR、DIS、HLC

オーディオ	
オーディオ機能	双方向オーディオ
圧縮	G.711、G.726
インターフェイス	内蔵マイク 外部マイク入力 外部ライン出力
有効範囲	5 メートル
ネットワーク	
ユーザー数	最大 10 クライアントによる同時閲覧
プロトコル	IPv4、IPv6、TCP/IP、HTTP、HTTPS、UPnP、RTSP/RTP/RTCP、IGMP、CIFS/SMB、SMTP、FTP、DHCP、NTP、DNS、DDNS、PPPoE、CoS、QoS、SNMP、802.1X、UDP、ICMP、ARP、SSL/TLS
インターフェイス	10 Base-T/100 Base-TX イーサネット (RJ-45) *3P/ETL 規格に準拠する標準の CAT5e および CAT6 ケーブルを使用すること。
ONVIF	対応済み。詳細は www.onvif.org を参照
インテリジェントビデオ	
ビデオ動体検知	最大 5 つのウィンドウが設定可能なビデオ動体検知
アラームおよびイベント	
アラームトリガー	動体検知、手動トリガー、デジタル入力、定期的なトリガー、システム起動、録画通知、タンパー検知、音声検知、MicroSD カード寿命予測
アラームイベント	デジタル出力、HTTP、SMTP、FTP、NAS サーバーと MicroSD カードを用いたイベント通知、および HTTP/SMTP/FTP/NAS サーバー/MicroSD カードを通じたファイルのアップロード
全般	
コネクタ	ネットワーク 10/100 Mbps PoE 接続用 RJ-45 ケーブルコネクタ オーディオマイク入力 オーディオライン出力 DC 12V デジタル入力 x 1 デジタル出力 x 1
LED インジケータ	システム電源およびステータスインジケータ
電源入力	DC 12V IEEE 802.3af PoE クラス 0
消費電力	最大 7 W
寸法	Ø 155 x 104 mm
重量	854 g
ハウジング	IP66、IK10
認証	CE、LVD、FCC クラス A、VCCI クラス A、C-Tick、UL

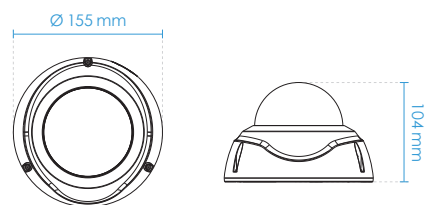
技術仕様

動作温度	起動時温度： -10° C～50° C (14° F～122° F) 稼動中温度： -20° C～50° C (-4° F～122° F)
湿度	90%以下
保証期間	2 年
システム要件	
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 8/7
ウェブブラウザ	Mozilla Firefox 7～43 (ストリーミングのみ) Internet Explorer 10/11
その他プレイヤー	VLC : 1.1.11 またはそれ以上 Quicktime : 7 またはそれ以上

同梱付属品

その他 クイックインストールガイド、保証書、ネジ、アンカー、レンチ、アライメントステッカー

寸法



互換付属品

取付キット



AM-21A
L 字形ブラケット



AM-51C
アダプタプレート



AM-525
マウンティングアダプタ



AM-713 (v01)
屋外コンジットボックス

Technology License Notice

AMR-NB Standard

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AMR-NB STANDARD PATENT LICENSE AGREEMENT. WITH RESPECT TO THE USE OF THIS PRODUCT, THE FOLLOWING LICENSORS' PATENTS MAY APPLY:

TELEFONAKIEBOLAGET ERICSSON AB: US PAT. 6192335; 6275798; 6029125; 6424938; 6058359. NOKIA CORPORATION: US PAT. 5946651; 6199035. VOICEAGE CORPORATION: AT PAT. 0516621; BE PAT. 0516621; CA PAT. 2010830; CH PAT. 0516621; DE PAT. 0516621; DK PAT. 0516621; ES PAT. 0516621; FR PAT. 0516621; GB PAT. 0516621; GR PAT. 0516621; IT PAT. 0516621; LI PAT. 0516621; LU PAT. 0516621; NL PAT. 0516621; SE PAT. 0516621; US PAT. 5444816; AT PAT. 819303/AT E 198805T1; AU PAT. 697256; BE PAT. 819303; BR PAT. 9604838-7; CA PAT. 2216315; CH PAT. 819303; CN PAT. ZL96193827.7; DE PAT. 819303/DE69611607T2; DK PAT. 819303; ES PAT. 819303; EP PAT. 819303; FR PAT. 819303; GB PAT. 819303; IT PAT. 819303; JP PAT. APP. 8-529817; NL PAT. 819303; SE PAT. 819303; US PAT. 5664053. THE LIST MAY BE UPDATED FROM TIME TO TIME BY LICENSORS AND A CURRENT VERSION OF WHICH IS AVAILABLE ON LICENSOR'S WEBSITE AT [HTTP://WWW.VOICEAGE.COM](http://www.voiceage.com).



Notices from HEVC Advance:

THIS PRODUCT IS SOLD WITH A LIMITED LICENSE AND IS AUTHORIZED TO BE USED ONLY IN CONNECTION WITH HEVC CONTENT THAT MEETS EACH OF THE THREE FOLLOWING QUALIFICATIONS: (1) HEVC CONTENT ONLY FOR PERSONAL USE; (2) HEVC CONTENT THAT IS NOT OFFERED FOR SALE; AND (3) HEVC CONTENT THAT IS CREATED BY THE OWNER OF THE PRODUCT. THIS PRODUCT MAY NOT BE USED IN CONNECTION WITH HEVC ENCODED CONTENT CREATED BY A THIRD PARTY, WHICH THE USER HAS ORDERED OR PURCHASED FROM A THIRD PARTY, UNLESS THE USER IS SEPARATELY GRANTED RIGHTS TO USE THE PRODUCT WITH SUCH CONTENT BY A LICENSED SELLER OF THE CONTENT. YOUR USE OF THIS PRODUCT IN CONNECTION WITH HEVC ENCODED CONTENT IS DEEMED ACCEPTANCE OF THE LIMITED AUTHORITY TO USE AS NOTED ABOVE.

H.264

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

Electromagnetic Compatibility (EMC)

VCCI 規制について

FD9167-H、FD9167-HT

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをして下さい。

VCCI-B

FD9367-HV、FD9367-HTV、FD9367-EHTV

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

責任

- ① 本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。
- ② 本書の内容について万全を期して作成いたしましたが、万が一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- ③ 製品を運用した結果の影響については②項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

製品の譲渡または売却時のご注意

この製品を第三者に譲渡または売却する場合は、この製品に添付されているすべてのものを譲渡または売却してください。